

リモコン式自走草刈機

取扱説明書

AJK600

文書コードNo. : T39039010-7
作 成 : 2023年4月1日



ご使用前に必ずお読みください。
いつまでも大切に保管してください。

このたびは弊社製品を お買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は本製品の正しい取扱方法と簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき十分理解され、本製品を最良の状態ですく安全に使用するためにご活用ください。
- お読みになったあとも、この取扱説明書を必ず大切に保存し、分からない場合は理解されるまで十分お読みください。
- 本製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の営業所・販売店・農協（JA）にご注文ください。
- なお、品質・性能向上などの理由で、使用部品の変更をおこなうことがあります。その際には、本書の内容および写真イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げ店か、お近くの販売店・農協（JA）にご相談ください。
- 下記マークが付いた項目は、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。



その警告に従わなかった場合、製品の損傷や故障のおそれのあるものを示します。



その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目次

1. 安全に作業をするために.....	1
2. 安全表示ラベルと その取り扱いについて.....	19
2-1. 安全表示ラベルの手入れについて.....	20
2-2. 安全表示ラベルの内容.....	21
3. 本製品の使用目的について.....	23
4. 補修用部品の供給年限について.....	23
5. アフターサービスについて.....	23
6. 仕様寸法.....	24
7. 各部のなまえ.....	25
8. 操作手順.....	26
8-1. 走行操作（リモコン コントローラ）.....	26
8-1-1. 電池交換.....	27
8-1-2. アンテナ.....	28
8-1-3. ジョイスティック.....	30
8-1-4. 走行速度ボリューム.....	31
8-1-5. エンジン回転数ボリューム.....	31
8-2. エンジンの始動.....	32
8-3. エンジンの停止.....	35
8-4. 草刈り操作.....	37
8-5. 草刈り作業の仕方.....	38
8-6. 液晶画面操作（リモコン コントローラ）.....	39
8-6-1. 切替／戻る.....	39
8-6-2. UP／DW.....	39
8-6-3. 液晶画面表示一覧.....	41
8-7. 傾斜地走行時.....	43
8-8. 無線番号設定.....	44
9. 始業前点検・保守整備一覧表.....	45
10. 適正締付トルク表.....	47
11. 各部の調整・交換要領.....	49

11-1.	モアーベルトの調整	49
11-2.	ベルトの交換	51
11-3.	刈り刃の交換	55
11-4.	強カピンの交換	57
11-5.	チェーンの調整	60
11-6.	タイヤの空気圧	62
11-7.	燃料・その他油脂類について	63
11-7-1.	燃料の補給	63
11-7-2.	油圧作動油の給油	64
11-7-3.	油圧作動油の交換	65
12.	作業後のメンテナンス	68
12-1.	エンジンの清掃	68
12-2.	オイルクーラの清掃	68
13.	長期保管	69
14.	クレーン等による吊り上げ	70
15.	消耗部品	71
16.	トラブルシューティング	72
16-1.	トラブル現象と対応	73
16-2.	電気配線図	75
16-3.	油圧配管図	76
16-4.	リモコンコントローラの異常表示、コントローラのブザーとLED点滅の対応	77
16-5.	ジョイスティック中立で 前または後ろに動く場合の対応	79
16-6.	走行ができない場合	80

[MEMO]

1. 安全に作業をするために

- 草刈機を安全に使用していただくために、ここに記載されている注意項目を必ず守ってください。
- 下記の注意項目を守らないと、死亡を含む傷害や事故、製品の破損が生じるおそれがあります。

一般的な注意



草刈機を使用する前には必ず本書とすべての安全指示よく読んで、理解した上で使用する

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、草刈機の破損につながるおそれがあります。

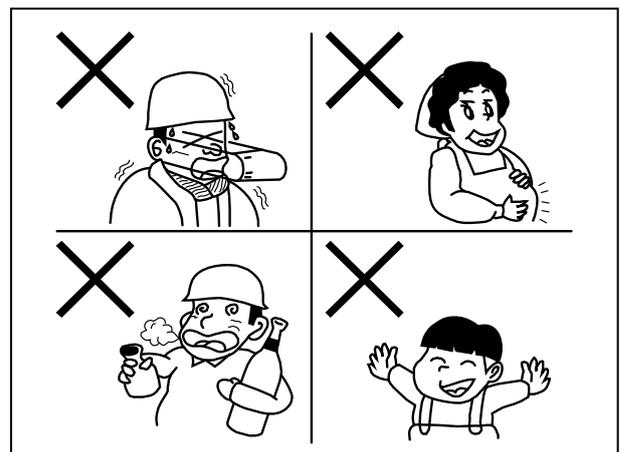


こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 本書およびラベルの内容が理解できない人や子供。

【守らないと】

死傷事故につながるおそれがあります。



必ず読んでください

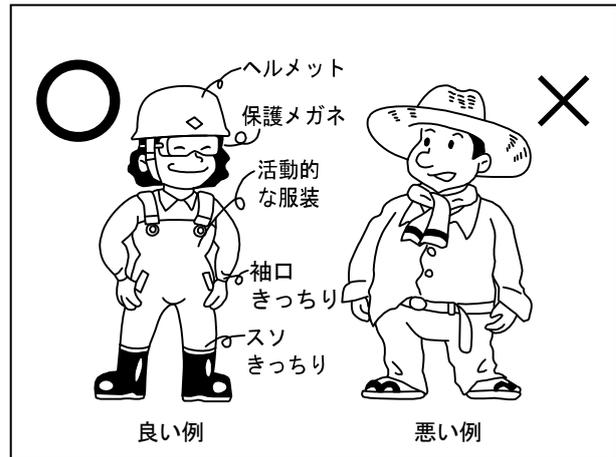
⚠ 注意

作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは危険です。ヘルメット・保護メガネ・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装をしてください。

【守らないと】

滑って転倒したり、草刈機の回転部に巻きこまれて死傷するおそれがあります。



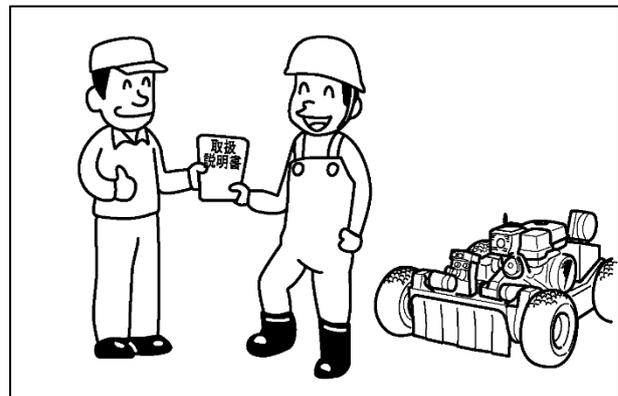
⚠ 警告

草刈機を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に本書を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死傷事故となるおそれがあります。



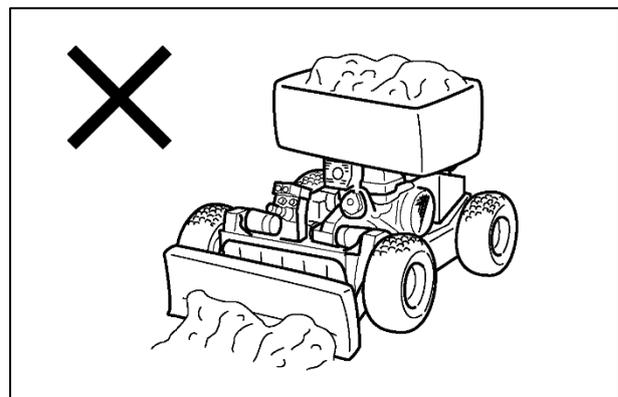
⚠ 注意

草刈機の改造禁止

- 純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。
- 改造をしないでください。

【守らないと】

傷害事故や、草刈機の破損につながるおそれがあります。



草刈り作業する前に

危険

- 給油時は必ずエンジンを停止する
- くわえタバコで燃料補給をしない
- たき火などのそばで作業をしない
- 燃料がこぼれたらきれいにふき取る

【守らないと】

火災・引火爆発を引き起こし死傷するおそれがあります。



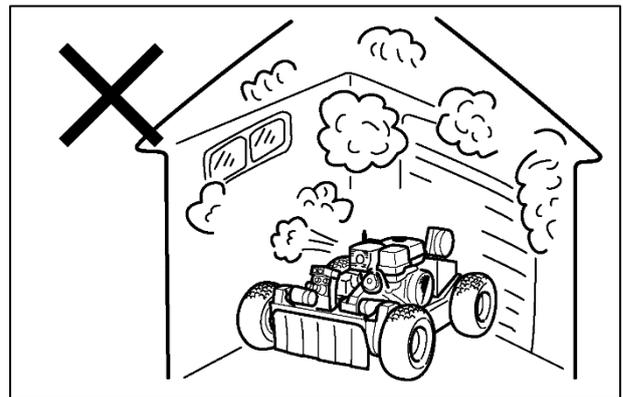
警告

密閉した通気性の悪い場所で運転しない

トンネル・地下室・閉めきった室内など、換気が不十分な場所では使用しないでください。

【守らないと】

排気ガスが充満して死傷事故につながるおそれがあります。



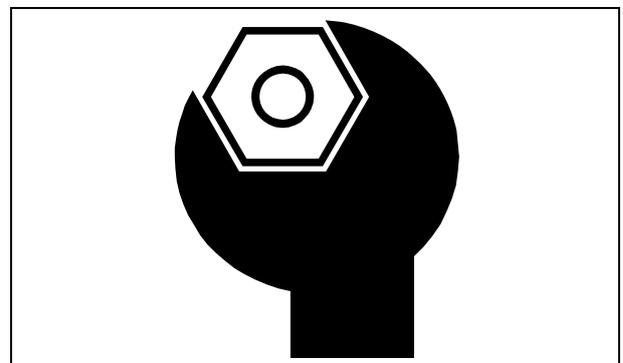
警告

草刈機を操作する前に油圧配管のネジ部をしっかりと締める

安全のため、油圧ホースは2年毎に交換してください。

【守らないと】

継手やホースがはずれたり、抜けることで死傷事故となるおそれがあります。



必ず読んでください



高压油に注意

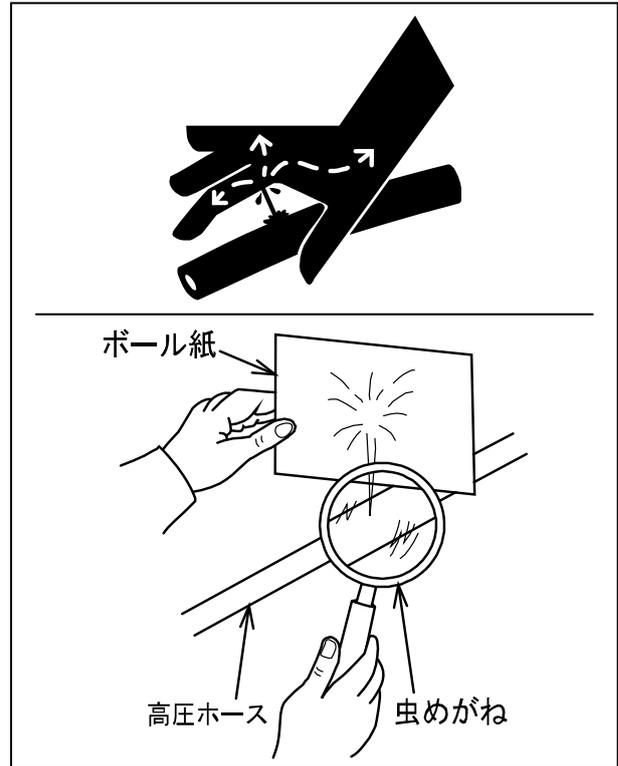
噴出する油を手足などでさわらない

作業中、ホースや油圧部品から油が噴出した場合は、すぐにエンジンを停止

【守らないと】

高压油は皮膚を突き破ることがあり、重大な傷害事故となるおそれがあります

- 万一噴出した油が目に入ったり、皮膚に浸透した場合は水で洗浄した後、すぐに医師の処置を受けてください
- 見えない小さな穴からの油もれを探すときは保護めがねをかけ、ボール紙などを利用して



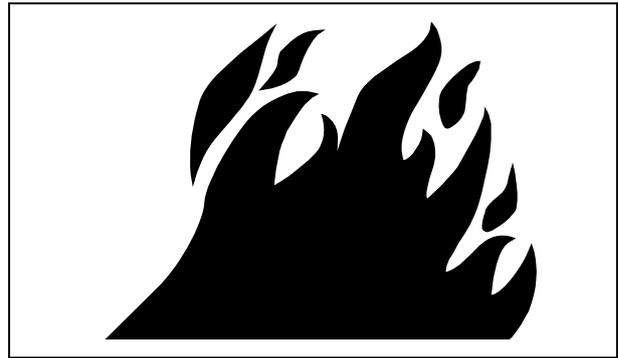


火災に十分注意する

- 近くでタバコを吸ったり火気を使用しない。
- 燃料補給はエンジンを停止させてからおこなう。
- 燃料やオイルの配管を確認しゆるんでいれば締め直し、損傷があれば修理または交換する。
- 燃料やオイルの補給時は、その場から離れない。
- 燃料やオイルのキャップは全てしっかりと締める。
- 過熱した表面や電気系統部品に燃料をこぼさない。
- 燃料やオイルは換気の良い場所に保管する。
- 燃料やオイルは定められた場所に保管し関係者以外は近づけない。
- 給油後はこぼれた燃料・油脂類を拭き取る。
- 部品などの洗浄油は不燃性のものを使用し軽油やガソリンなど引火のおそれのあるものは使用しない。
- エンジンやマフラー、バッテリーに付着した破砕物やゴミは取り除く。
- 機体にカバーをかける場合は高温部が十分冷えてからおこなう。
- 電気系統のショートにより火災が起こるおそれがあるので配線の結合部を清潔にし、しっかりと固定する。
- 配線のゆるみや損傷を確認し、ゆるんでいれば締め直し、損傷があれば修理または交換する。

【守らないと】

火災・引火爆発を引き起こし死傷するおそれがあります。



必ず読んでください

取扱注意

- リモコンコントローラは精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- 日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。他国では独自の安全基準が定められており、この装置が適合する事は保証いたしかねます。
- 本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。
そのため、強い電波が出ている電波塔のそば、トンネルやビルの間などコンクリートで遮断された場所では使用できないことがあります。

電波認証型式：TWE-001 Lite
工事設計認証番号：007-AB0031

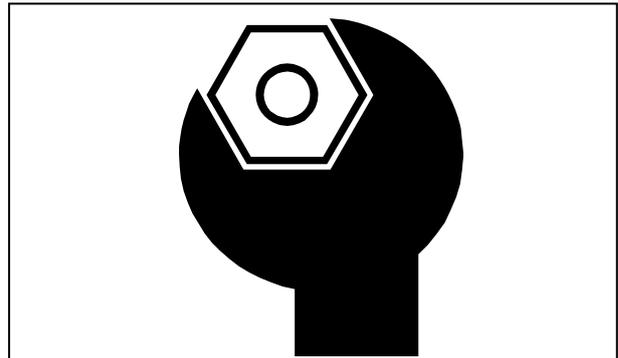


作業する前に必ず下記の始業点検をおこなう

- 各部のボルト・ナットのゆるみ
- 各部のピンの脱落
- カバー固定ボルトのゆるみ
- 刈り刃固定ボルトのゆるみ
- 車輪固定ボルトのゆるみ
- ベルトの張り具合と摩耗・損傷の有無
- 各部の油もれ
- 燃料・潤滑油・エンジンオイル・作動油の油量
- 燃料タンクのキャップ、および全ての安全カバー類が装着されていること
- エンジンオイル・エレメントの汚れ
- レバーの操作性
- クラッチレバーは「回転」「停止」とともに確実に作動しているか

【守らないと】

傷害事故や草刈機の故障・破損につながるおそれがあります。

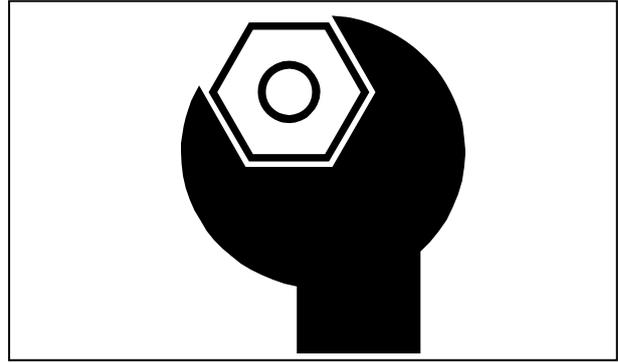


注意

- 回転部に給脂する
- 電気コードが他の部品に接触していないか被覆のはがれ、接続部のゆるみがないか確認する
- その他破損箇所（材料・溶接割れなど）がないか確認する

【守らないと】

傷害事故や草刈機の故障・破損につながるおそれがあります。



取扱注意

エンジン始動時、クラッチレバーは「モーター停止」にし、周囲の安全を確認する

【守らないと】

草刈機の破損・故障につながるおそれがあります。

必ず読んでください

草刈り作業時

⚠ 注意

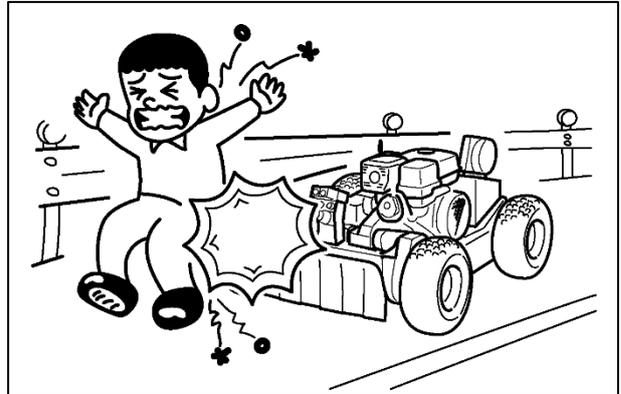
草刈機を公道で走行させない

公道を移動する時は、草刈機をトラックなどに積み込み、移動してください

【守らないと】

草刈機は公道および公道とみなされる道路での運転はできません。

また、傷害事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

草刈機に人を乗せない

【守らないと】

傷害事故につながるおそれがあります。

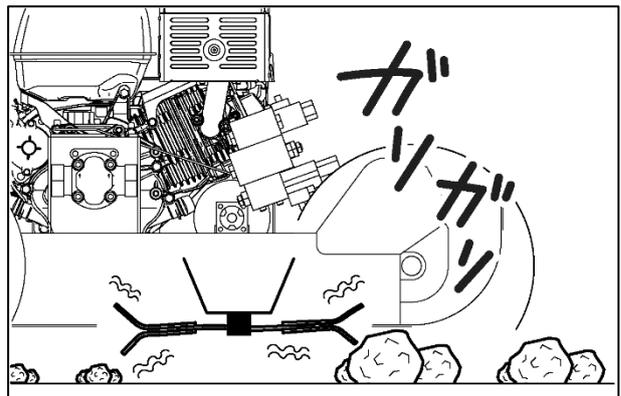


取扱注意

- 大きい石や木材の上など起伏のはげしい場所では作業しない
- 路肩や湿田などの軟弱地では作業しない

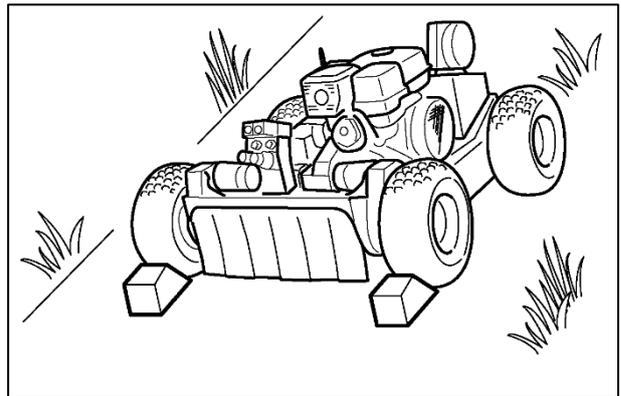
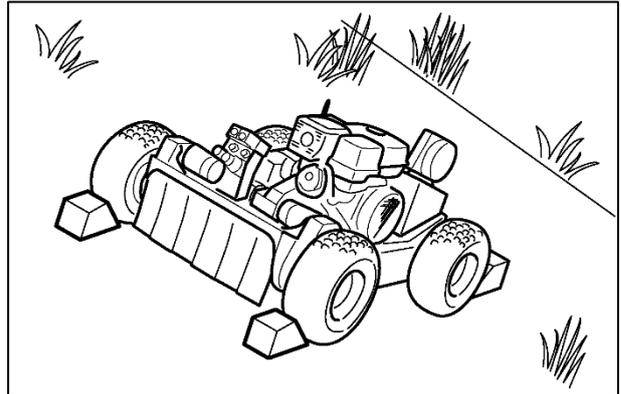
【守らないと】

草刈機の破損、故障につながるおそれがあります



取扱注意

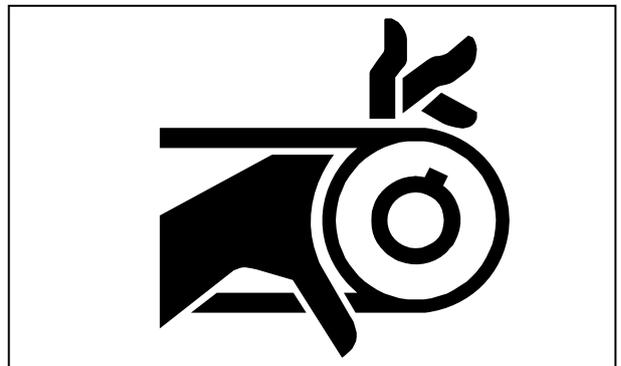
傾斜地に駐車しない。
やむなく傾斜地に駐車する場合、なるべく等高線に沿った方向に停車し、輪止めをしてください。
傾斜に沿った方向に駐車する場合も輪止めをしてください。



⚠ 注意

草刈り作業時は必ずカバー類を装着する

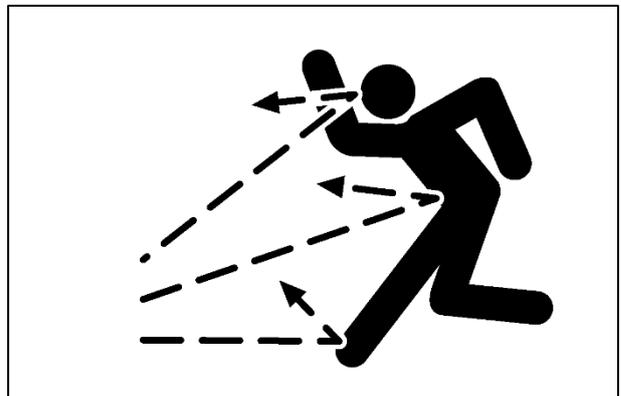
【守らないと】
回転部に巻きこまれ、指の切傷等けがをすることがあります。



⚠ 注意

草刈り作業時は草刈機の周囲に近づかない

【守らないと】
草刈機から飛散した石や破片により、傷害を負うおそれがあります。



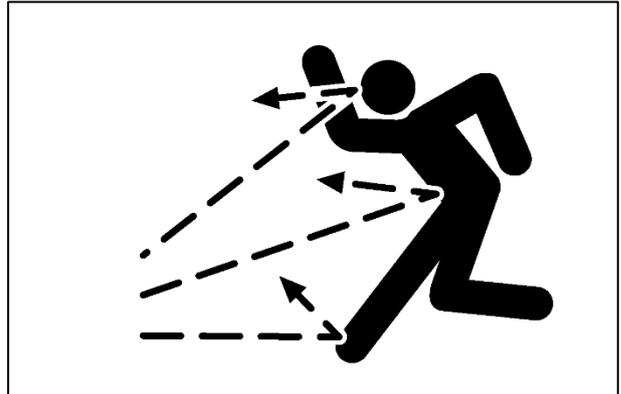
必ず読んでください

⚠ 注意

作業時は草刈機の周囲に人がいないことを確認する

【守らないと】

草刈機から飛散した石や破片により傷害事故となるおそれがあります。

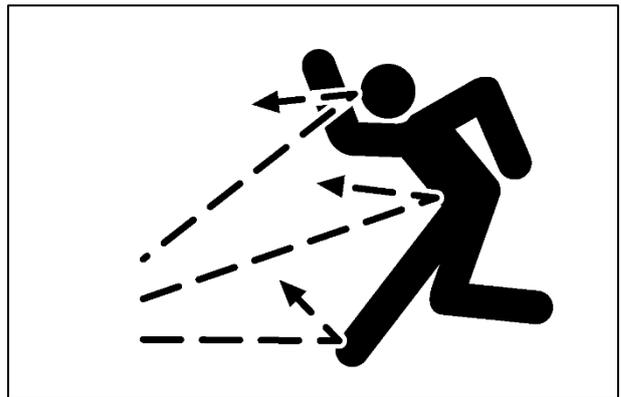


⚠ 注意

モアー前後のフラップ（ゴムカバー）が破損したらすぐに交換する

【守らないと】

草刈機から飛散した石や破片により、傷害を負うおそれがあります。



⚠ 注意

回転部分には手足や衣服を近づけない

【守らないと】

回転に巻き込まれ、傷害を負うおそれがあります。

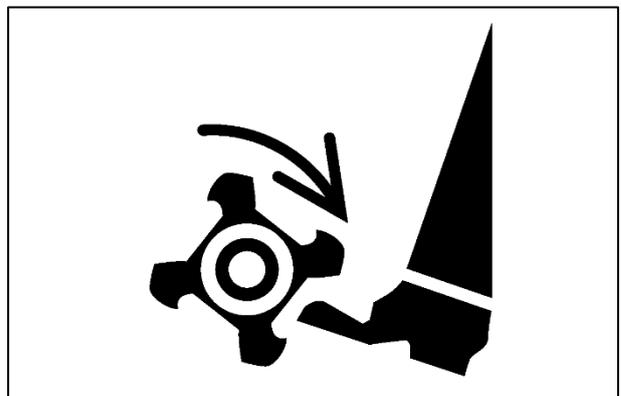


⚠ 注意

- エンジンが動いている間、絶対にフレーム内に手足を入れない
- 刈り刃に巻きついたらつる・ビニール・布などを取りのぞくときは、
 - ① エンジンを停止し
 - ② 刈り刃の回転が完全に停止したことを確認してから取りのぞく

【守らないと】

回転に巻き込まれ、傷害を負うおそれがあります。



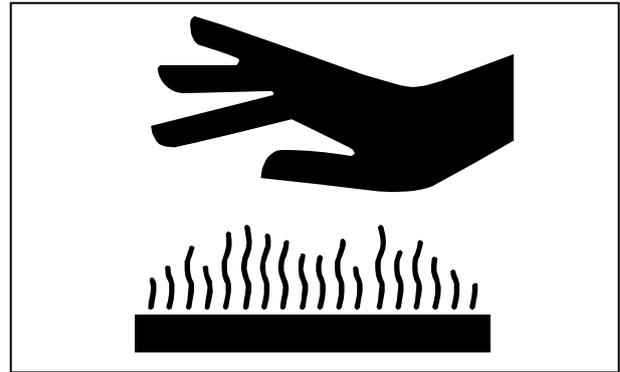
注意

運転中はエンジン・マフラー・油圧タンクなどの高温部にさわらない

点検のため、さわったりカバーをかけたりする場合はエンジンを停止させ、エンジン・マフラーなどの高温部が完全に冷えてからおこなってください。

【守らないと】

火傷などの傷害事故となるおそれがあります。



注意

草刈機から離れるときは、

- ① 必ずエンジンを停止
- ② 本体コントローラの主電源を「STOP」
- ③ クラッチレバーを「モーター停止」に操作

【守らないと】

取扱方法を知らない者が草刈機を操作する可能性があり、傷害事故につながるおそれがあります。

取扱注意

草刈り作業中、異音が生じたり異常を感じたら、すぐにエンジンを停止し回転部の回転を停止させる

取扱説明書や安全表示ラベルを参照して点検をおこない、異常の有無を確認してください。

【守らないと】

作動や状況がおかしいまま大丈夫だろうと過信して作業を続けると、故障や破損につながるおそれがあります。

必ず読んでください

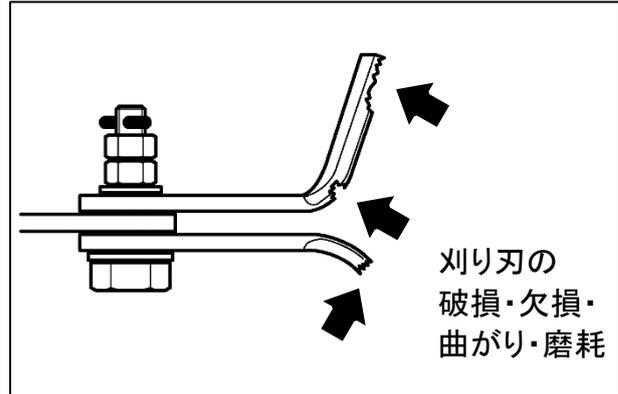
取扱注意

刈り刃が1枚でも破損していれば、すぐに交換する

刈り刃はすぐに交換できるように、常に用意しておいてください。刈り刃は必ず純正品を使用してください。

【守らないと】

刈り刃のバランスがくずれ、振動が発生し、草刈機が故障・破損するおそれがあります。

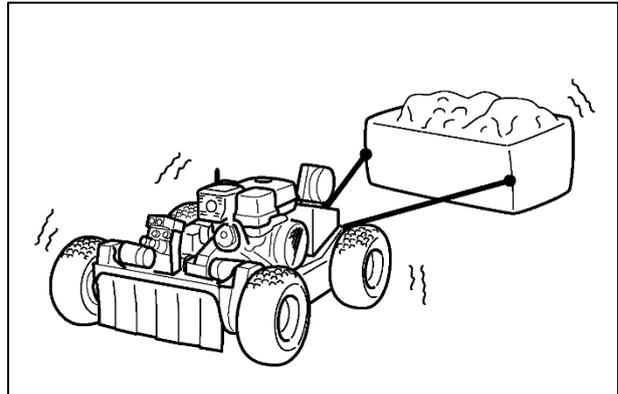


取扱注意

草刈機でけん引・運搬作業をしない

【守らないと】

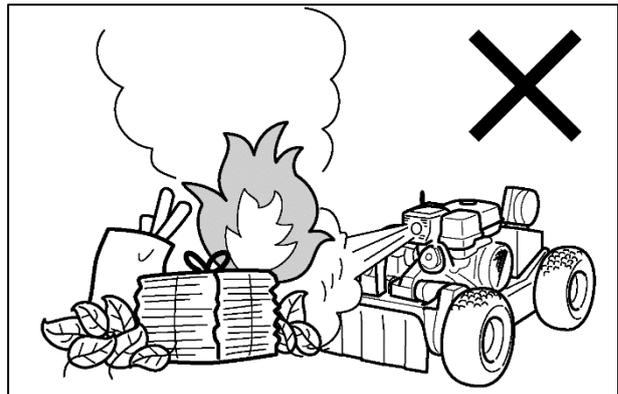
草刈機に無理な力がかかり、故障・破損するおそれがあります。



取扱注意

排気管の熱や排気ガスにより可燃物が着火し、火災につながるおそれがあります

- 排気管やエンジン周辺部のゴミは常に清掃しておく
- エンジン始動前には草刈機の周囲に可燃物がないことを確認する
- 枯れ草やワラなど、燃えやすいものの付近に駐車しない



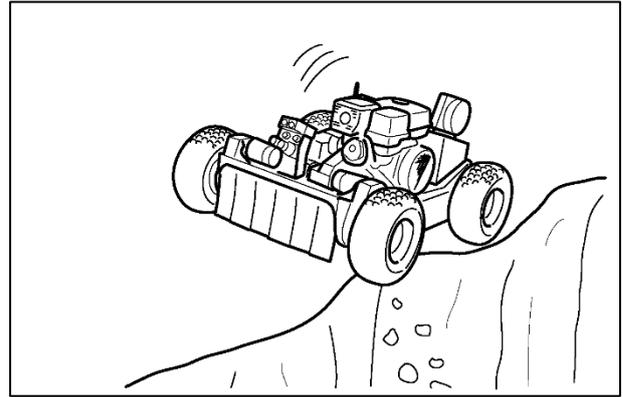
取扱注意

路肩や溝の周辺では十分注意して走行する

路肩がくずれのおそれがあります。

【守らないと】

草刈機の横転・転落により故障や破損につながるおそれがあります。



⚠ 注意

雨、霧、夜間の作業はしない

水に濡れるおそれのある天候、および見通しのよくない状態では作業しない。

【守らないと】

草刈機の故障や傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

草刈り作業時、関係者以外が近づかないよう監視する

【守らないと】

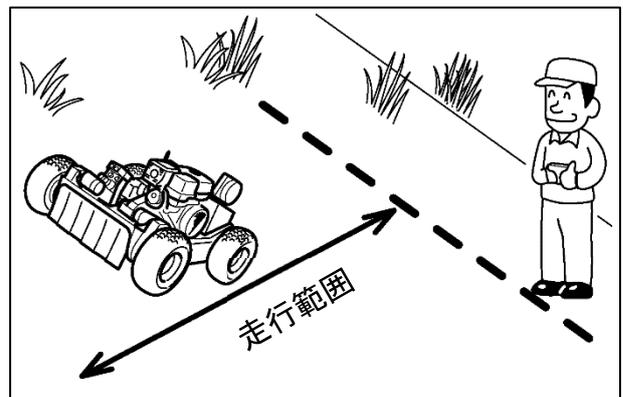
傷害事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

斜面作業時、草刈機の下方に入らない

【守らないと】

草刈機の転倒に巻きこまれ傷害事故につながるおそれがあります。



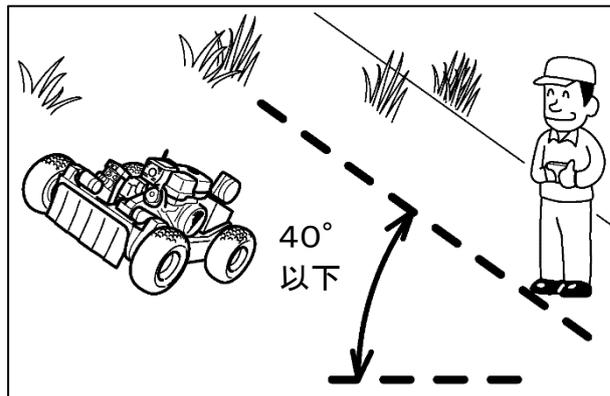
必ず読んでください

⚠ 注意

40° を超える斜面では作業をしない

【守らないと】

草刈機の転倒に巻きこまれ傷害事故につながるおそれがあります。



運搬時

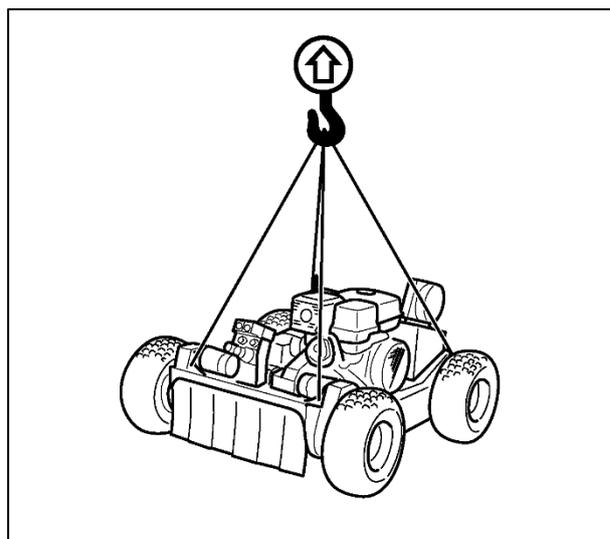
⚠ 警告

クレーンを使用して草刈機の吊り上げ作業をおこなうときは必ず下記項目を順守する

- 吊り上げ作業は有資格者がおこなう。
移動式クレーン特別教育修了証・玉掛技能講習終了証
- トラックの荷台への積み込み・積み降ろし作業は特に注意する。
- 吊り上げ用のワイヤロープ・ナイロンスリング等に亀裂・変形がないか確認する。
- 草刈機側のボルト・ナットのゆるみやピンの脱落がないか確認する。
- 吊り上げに使用するワイヤロープ・ナイロンスリング等は本機の質量に対して十分強度のあるものを使用する。
- 吊り上げるときは吊り上げ器具のねじれや重心位置に注意し、バランスを十分取る。
- 吊り上げ作業の指揮者を決め、その人の指示に従って作業する。
- 吊り上げた草刈機の真下に人を立ち入らせない。

【守らないと】

落下・転落等により死傷事故となるおそれがあります



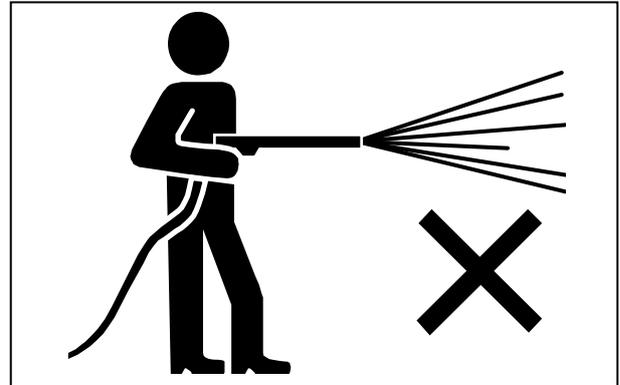
作業後

⚠ 注意

草刈機清掃時、高圧洗浄機は使用しない
バッテリー、電気配線類の接続コネクタ、油圧
機器のシール部に水をかけない

【守らないと】

- 電気配線被覆の損傷・断線により火災を引き起こすおそれがあります。
 - 油圧ホースの破損により、高圧の油が噴出して傷害を負うおそれがあります。
 - 機械の破損・損傷・故障の原因となります。
- 例) ①シール・ラベルのはがれ
②電子部品への浸水による故障
③オイルシール等のゴム・樹脂類の破損
④塗装・メッキ面の被覆はがれ



補 足

- 草刈機はいつもきれいにしてください。
- こぼれたオイル、グリスまたは散乱した刈り草は危険です。
草刈機はいつもきれいに管理してください。
- 草刈機を洗車する際、電気系統に水が浸入すると作動不良を起こし、誤作動の原因となることがあります。
各種センサ・コネクタ類・スイッチ類および電気配線の水洗いやスチーム洗浄はしないでください
- 草刈機を洗車後、エンジンを始動する際は“リコイル手動”で始動させる。（「8-2. エンジンの始動」参照）
まれに洗車によりバッテリー電圧が下がる、キャブレターから浸入した水により点火プラグがかぶることがあり、“自動セル始動”ができなくなることがあります。

必ず読んでください

点検・修理時

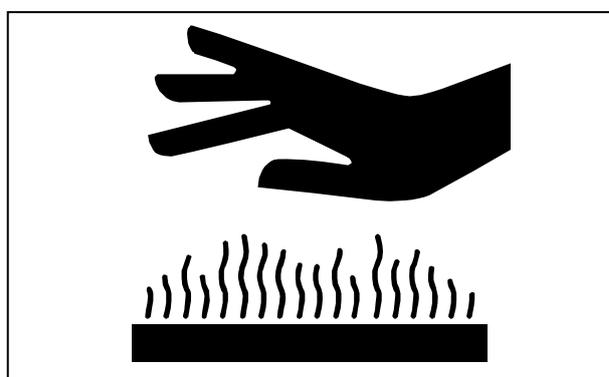
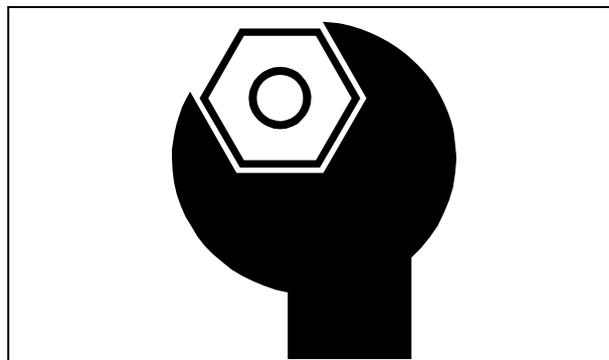
⚠ 注意

点検・整備は

- 硬くて平らな場所を選ぶ
- 本体コントローラの主電源を「STOP」にし、エンジンを停止させる
- 刈り刃の回転が完全に停止した後で作業する
- タイヤに輪止めをする
- バッテリーの(-)コードをはずす
- エンジン・マフラーなど高温部が完全に冷えてからおこなう
- 作業中は「点検中」「整備中」「修理中」などの看板をよく見える場所にかけておく
- 作業終了後、取りはずしたカバー類は必ず元通り取付ける

【守らないと】

傷害事故となるおそれがあります。

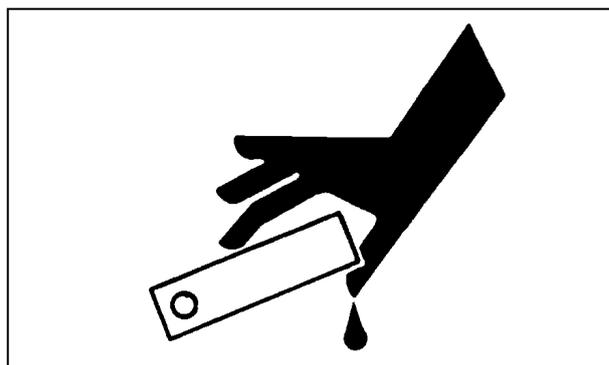


⚠ 注意

- 刈り刃を取扱う場合は
 - ① エンジン停止
 - ② 刈り刃の回転が完全に停止してからおこなう
- 刈り刃は直接手でさわらない
(革手袋などの保護具を使用する)

【守らないと】

鋭利な刃先で手を切傷し、傷害事故となるおそれがあります。



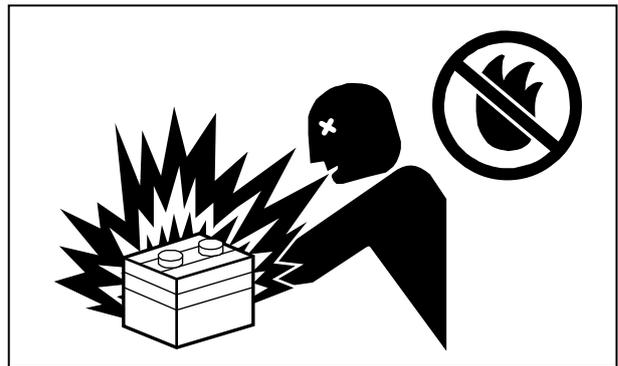
警告

バッテリーを取扱うときは、ショートさせたりタバコ等の火気を近づけない

- バッテリーの充電は風通しの良い場所で補水キャップをはずしておこなってください。
- バッテリー液を服や体につけないでください。
- 万一バッテリー液が目に入った場合は、水で洗浄した後すぐに医師の治療を受けてください。

【守らないと】

引火爆発・火傷・失明等の死傷事故となるおそれがあります。

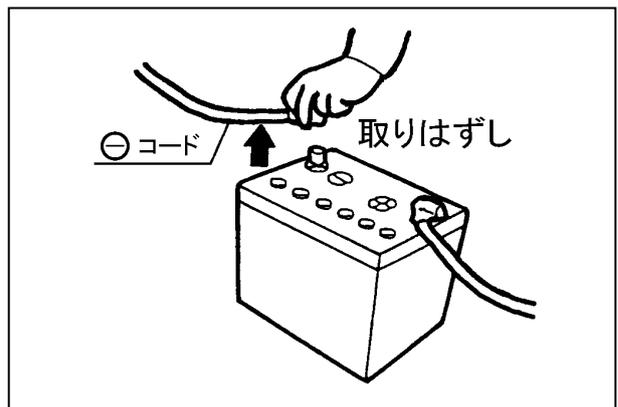


補足

長期間格納する場合（長期間使用しない場合）、再使用時に前と同じ性能を発揮させるためには保管・格納に十分注意する必要があります。

長期間格納する場合は、

- 屋内に格納する
- やむをえず屋外に格納する場合は雨のかからない平らな場所を選び、シートをかける
- 燃料タンク内の燃料を抜き取る
- バッテリーの(-)コードをはずしておく



補足

- 環境汚染を防ぐため、廃棄物の処理については十分注意してください。
- 廃液は必ず缶・タンクなどの容器に排出してください。絶対に地面にたれ流したり、川・下水・海・湖等に廃棄しないでください。
- オイル・燃料・冷却水・溶剤・フィルタ・バッテリーなどの有害物を処分するときは、適用される法規・規則に従ってください



必ず読んでください

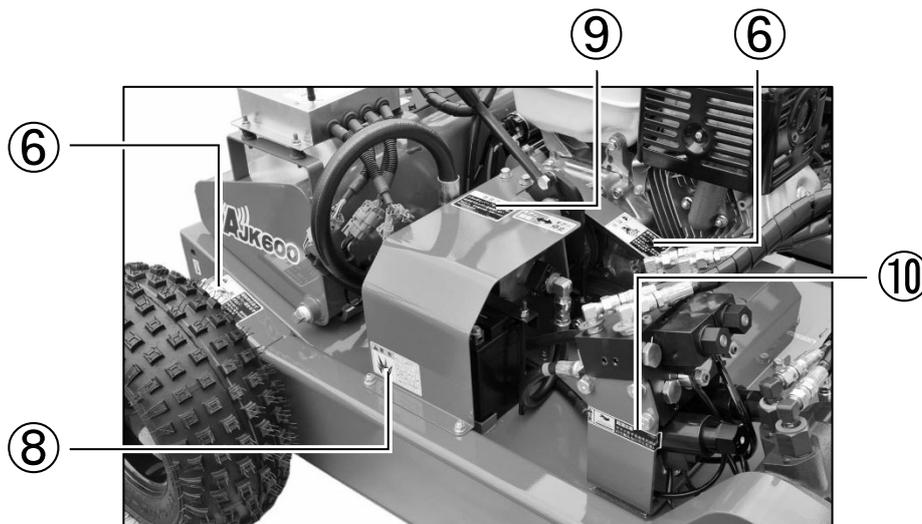
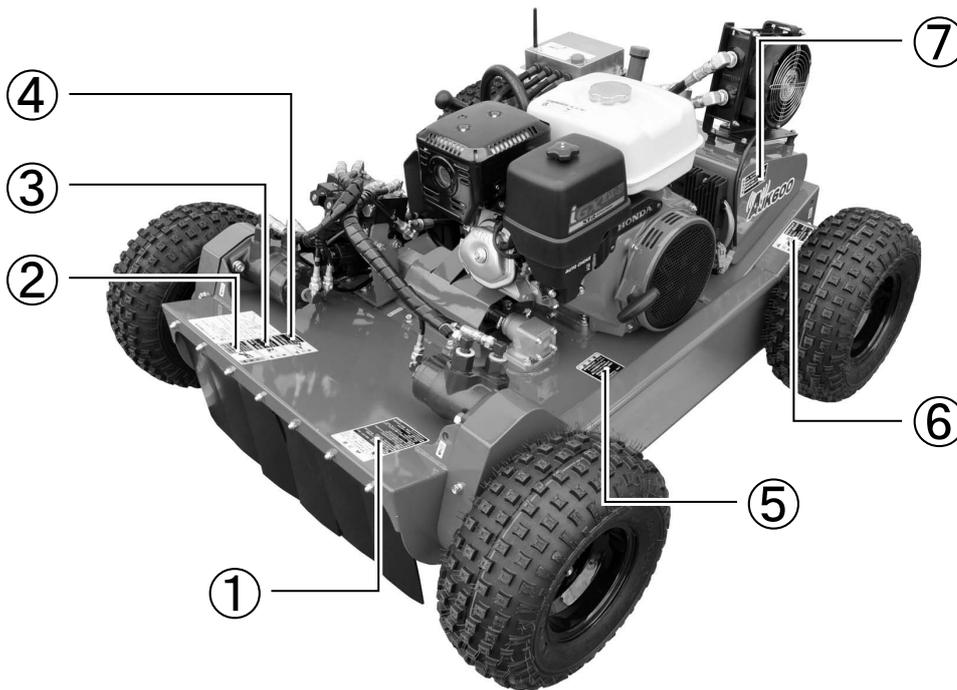
その他

補 足

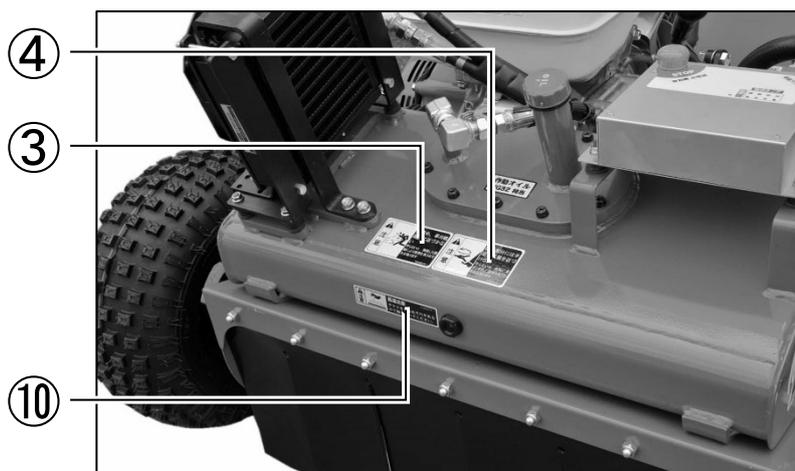
- 農作業事故が発生した場合に備え、共済組合発行の傷害共済保険もしくは一般保険会社発行の任意保険をかけてください。

2. 安全表示ラベルと その取り扱いについて

- 安全に作業していただくために安全表示ラベルの貼付位置を示したものです。
- 安全表示ラベルの内容詳細については、[2-2. 安全表示ラベルの内容]を参照してください。
- 安全表示ラベルは、常に汚れや破損のないようにしてください。
- ラベルが汚れている場合は石けん水で洗い、やわらかい布でふいてください。
- もし破損または紛失した場合は、新しいものに貼り替えてください。



必ず読んでください



番号	品番	品名	個数	規格
①	T39039540-1	ラベル	1	注意:取扱説明書を読む
②	T39039530-1	ラベル	1	警告:油圧部品さわらない
③	T39039570-1	ラベル	2	注意:近づかない
④	T39039580-1	ラベル	2	注意:回転部
⑤	C10001476-1	ラベル	1	注意:エンジンオイル確認
⑥	T39039560-1	ラベル	3	注意:カバーをはずさない
⑦	C30518970-1	ラベル	1	取扱注意:防塵網清掃
⑧	C10001183-1	ラベル	1	警告:バッテリー
⑨	T39039550-1	ラベル	1	取扱注意
⑩	C10002016-1	ラベル	2	注意:高温注意

2-1. 安全表示ラベルの手入れについて

- ラベルが汚れている場合は石けん水で洗い、やわらかい布でふいてください。
- 破損または紛失された場合は、お買い上げ店またはお近くの「販売店」「JA」（農協）にご注文ください。
- ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

2-2. 安全表示ラベルの内容

①

 注意	
	<p>傷害事故防止のため、使用前に取扱説明書と全ての安全表示をよく読み、理解して安全で正しい作業をしてください。</p>
<p>作業する前に</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必ずヘルメット・安全靴・保護メガネ・肌が露出しない作業服を着用 ● 草刈機の周囲に人がいないことを確認 ● 作業場所の障害物を確認し、あらかじめ取りのぞけるものは、よけておく <p>作業中</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各部のカバーは取りはずさない ● 異音・異常を感じたらすぐにエンジンを停止 ● 40°以上の斜面は走行しない ● 斜面の作業は下からおこなう <p>作業後</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 点検または草刈機から離れるときは、必ずエンジンを停止し、クラッチレバーを「モア-停止」に操作 ● 各部の清掃・点検を十分おこなう ● 安全表示ラベルを破損・紛失した時は新しいものを貼り付ける 	
T39039540-1	

②

		<p>警告</p> <p>エンジン回転中はホース等油圧部品を素手でさわらない 守らないと、高圧油が皮膚を突き破り、重大な障害事故となるおそれがあります</p>
T39039530-1		

③

		<p>注意</p> <p>作業中、草刈機周囲に近づかない 守らないと、飛散した異物により傷害を負うおそれがあります</p>
T39039570-1		

④

		<p>注意</p> <p>回転部分には手足や衣服を近づけない 守らないと、回転に巻きこまれ、傷害を負うおそれがあります</p>
T39039580-1		

必ず読んでください

⑤

注意

- 始業前に必ず、オイルゲージでエンジンオイル量を確認すること
- エンジンオイル量が下限付近のときは上限まで給油すること

【守らないと】
エンジンが焼き付き、破損するおそれがあります。

C10001476-1

⑥

注意



運転時は必ず、カバー類をはずさない
守らないと、指の切傷等けがをするおそれがあります

T39039560-1

⑦

取扱注意

ごみ、ほこりが付着した場合、防塵網や冷却エレメントを圧縮空気等で清掃してください。冷却系統の能力低下を防ぎます。

C30518970-1

⑧

警告



バッテリーの取扱いを誤ると引火爆発することがあります。ショートやスパークさせたり、火気を近づけたりしないでください。また、バッテリー液で失明や火傷をすることがあります。目・皮膚・衣服についたときは、直ちに多量の水で洗ってください。なお、目に入ったときは水洗後医師の治療を受けてください。

0453-910-023-0

⑨

取扱注意

クラッチレバー「モア一回転」のままでエンジンを始動しない
守らないと、草刈機の破損・故障につながるおそれがあります

T39039550-1

⑩

注意



高温注意

ヤケドをするおそれがあるので触らないでください。

C10002016-1

3. 本製品の使用目的について

- (1) 本製品は、草刈り作業に使用してください。
- (2) 本製品を、使用目的以外の作業に使用したり改造しないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんので注意してください。
- (3) 市販類似品等、純正以外の部品を使用した場合も同様に保証の対象になりませんので注意してください。

4. 補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は、納期および価格についてご相談させていただきます。

5. アフターサービスについて

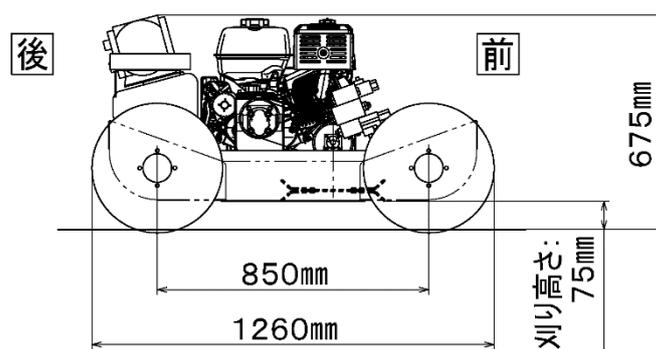
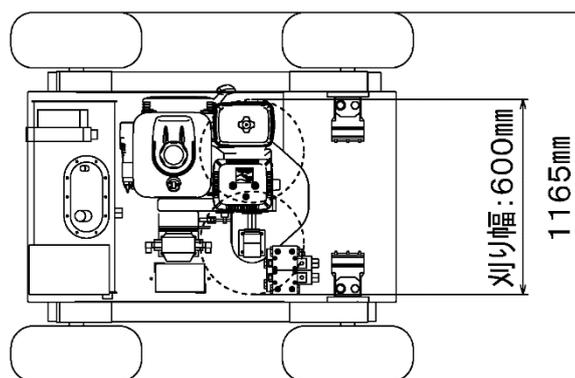
本製品の調子が悪いとき、[16. トラブルシューティング]に従って点検・整備してもなお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店・JA（農協）までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

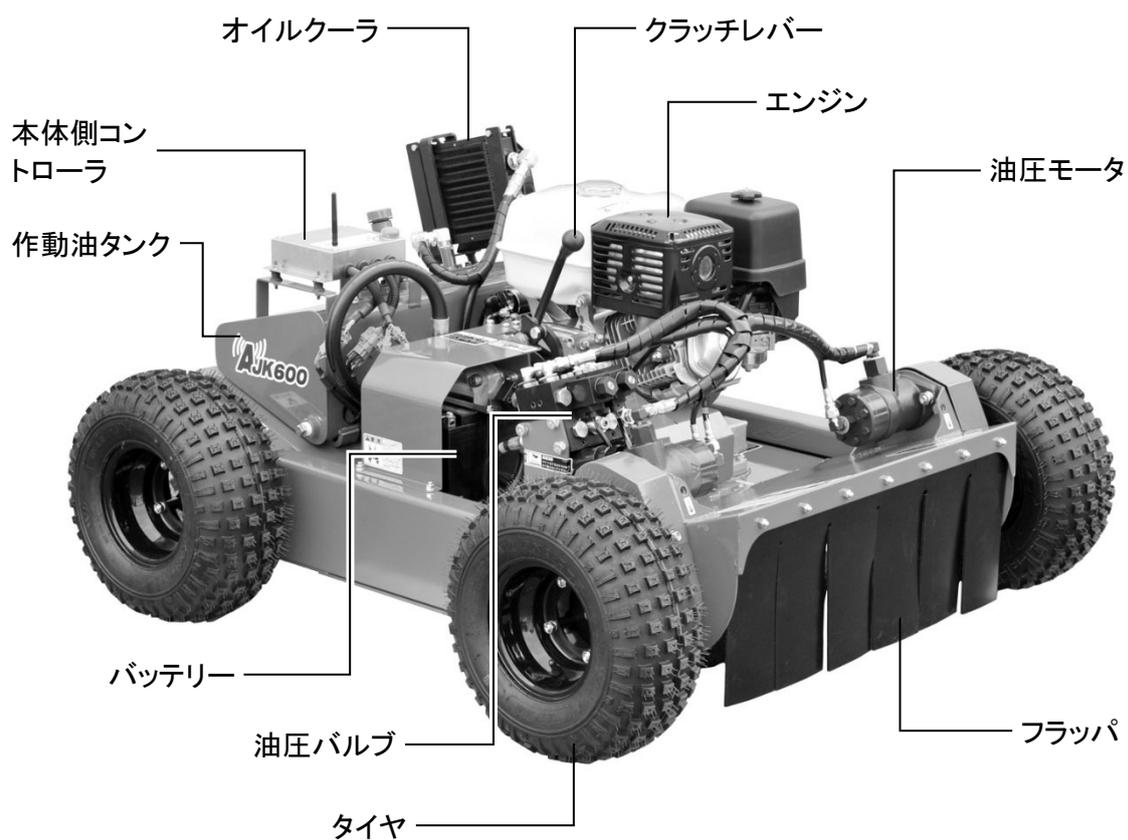
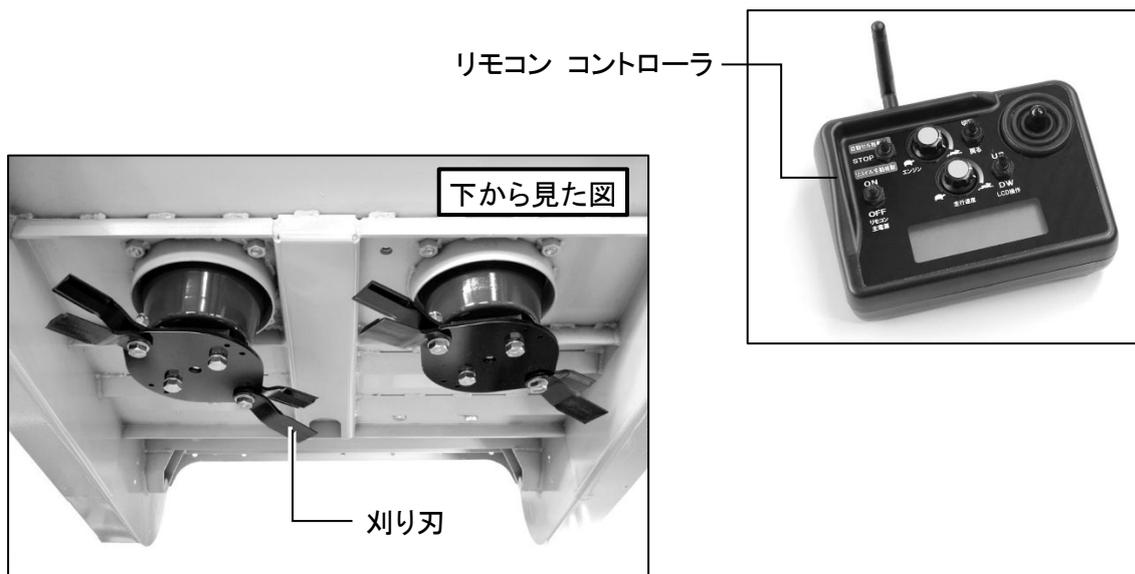
- (1) 型式名
- (2) 製造番号（機番）
- (3) 故障内容（できるだけ詳しく）

6. 仕様寸法

型 式	AJK600
全長×全幅×全高	1260 mm × 1165 mm × 675 mm
走行速度	2.6 km/h (計算値)
傾斜能力	最大 40°
質 量	200 kg
エ ン ジ ン	ガソリンエンジン
燃料タンク容量	6.1 L
刈り刃	フリー刃
刈り幅	600mm
刈り高さ	75 mm
電池(リモコンコントローラ)	9V角型 (6P型)
無線装置	電波認証型式:TWE-001 Lite 工事設計認証番号:007-AB0031



7. 各部のなまえ



8. 操作手順

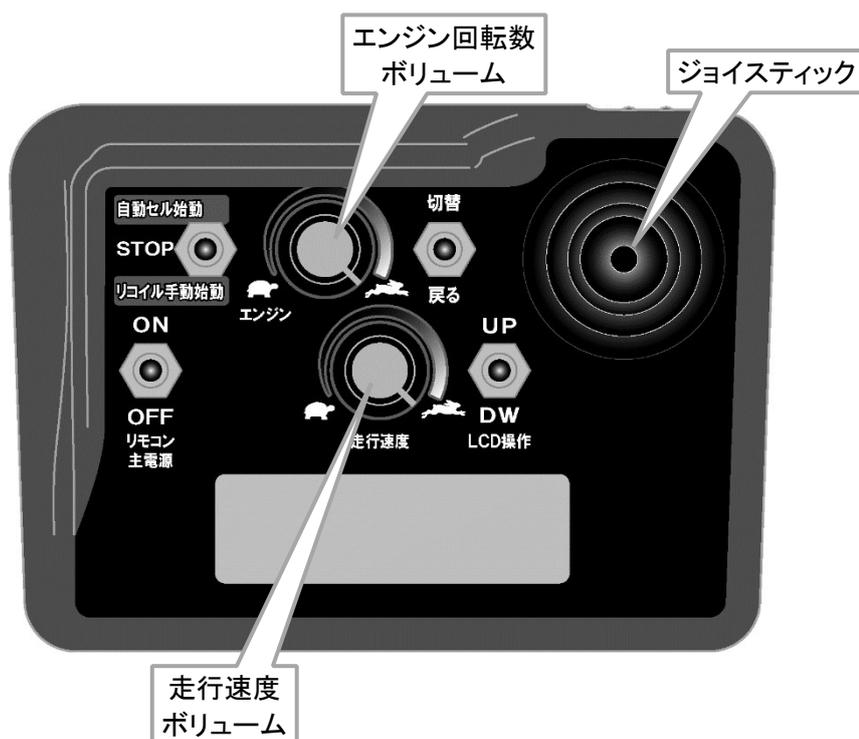
8-1. 走行操作（リモコン コントローラ）

取扱注意

- コントローラは精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所などでの使用・保管は避けてください。
- 日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。他国では独自の安全基準が定められており、この装置が適合する事は保証いたしかねます。
- 本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。そのため、強い電波が出ている電波塔のそば、トンネルやビルの間などコンクリートで遮断された場所では使用できないことがあります。

電波認証型式 : TWE-001 Lite

工事設計認証番号 : 007-AB0031

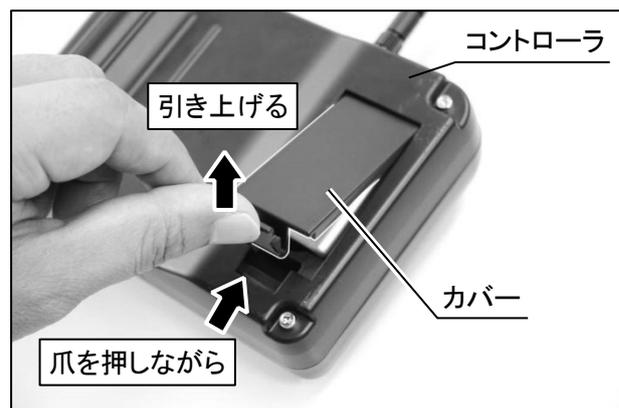


8-1-1. 電池交換

補 足

- 納品時、リモコン コントローラに電池は入っておりません。電池を入れてから作動確認をおこなってください。
- 納品時、同梱されている電池は作動確認用電池です。作業される際は、市販の電池と交換してください。
- 草刈り作業時、予備の電池を準備しておいてください。
- アルカリ電池【FUJITSU Premium 6LR61】で約5時間使用が目安になります。
- 電池交換を表示されてから約30分使用可能です。気温により使用時間が短くなることがあります。
- 充電電池（ニッケル水素，Ni-MH）【例：TOSHIBA IMPULSE 6P，充電器TNHC-622SC】を使用される場合、使用可能時間は短くなります。また、電圧降下が比較的急なので、電池交換表示が見えないことがあります。

- a) リモコンコントローラ裏側の電池室カバーを取りはずす。
爪を矢印方向に押しながら引き上げるとはずれます。



- b) 電池を電池室から抜き出し、コネクタをはずす。

- c) 新しい電池にコネクタを取付け、電池室に挿入する。
電池はアルカリ乾電池9V角型（6P型）を使用してください。



- d) a)で取りはずした電池室カバーを取り付ける。
カバーのフック部をリモコンコントローラにかけた状態でカバーを閉じると装着できます。

8-1-2. アンテナ

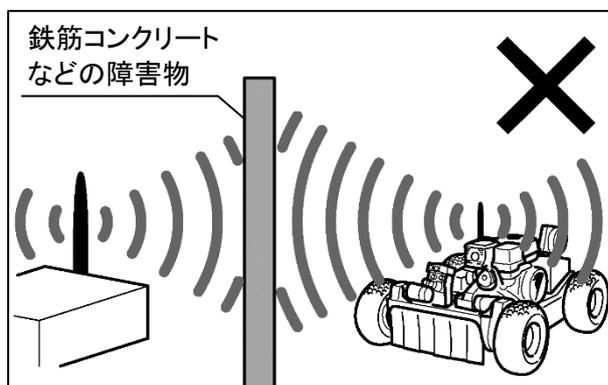
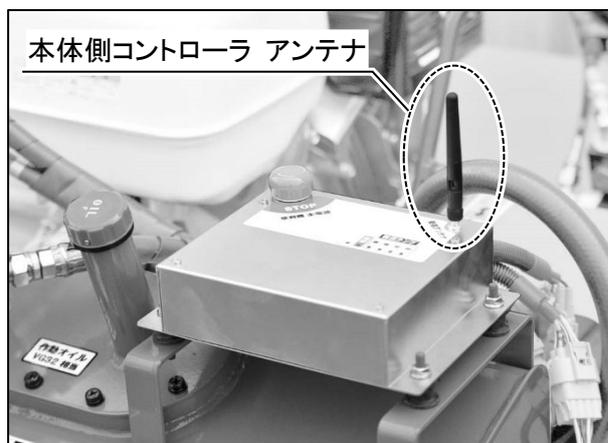
取扱注意

- 日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。他国では独自の安全基準が定められており、この装置が適合する事は保証いたしかねます。
- 本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。そのため、強い電波が出ている電波塔のそば、トンネルやビルの間などコンクリートで遮断された場所では使用できないことがあります。

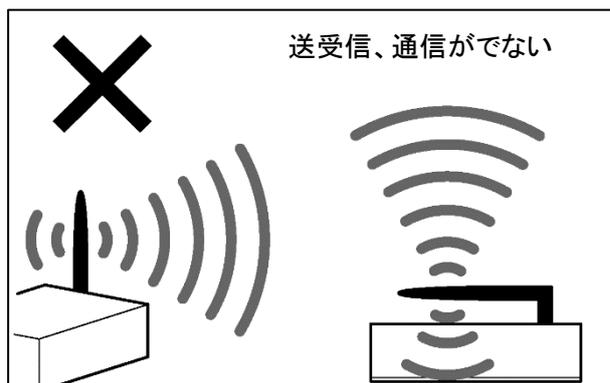
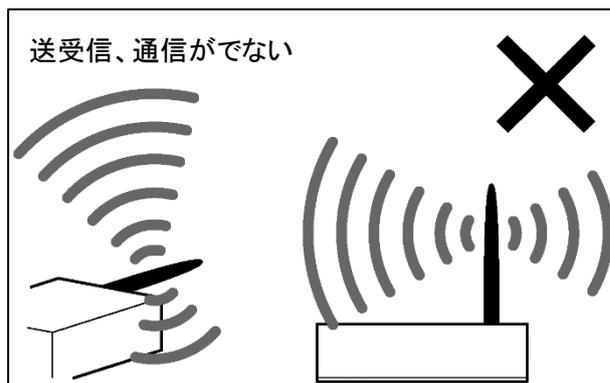
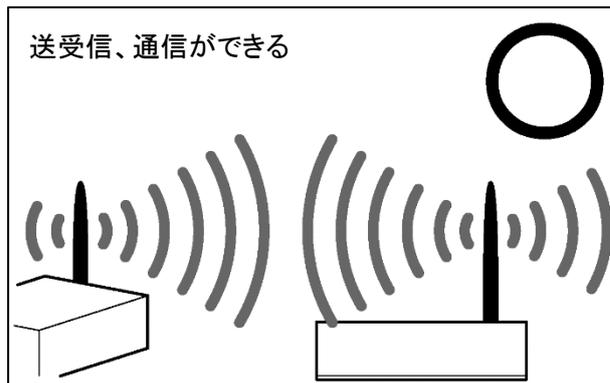
電波認証型式 : TWE-001 Lite
工事設計認証番号 : 007-AB0031

無線の通信距離は様々な条件に左右されます。
環境により通信できる距離はいちじるしく変化します。

- ◆ アンテナ間に障害物がある場合は通信距離が短くなります。
特に鉄板や鉄筋コンクリート、電波シールドフィルムの貼られたガラスは電波を大きく妨げます。

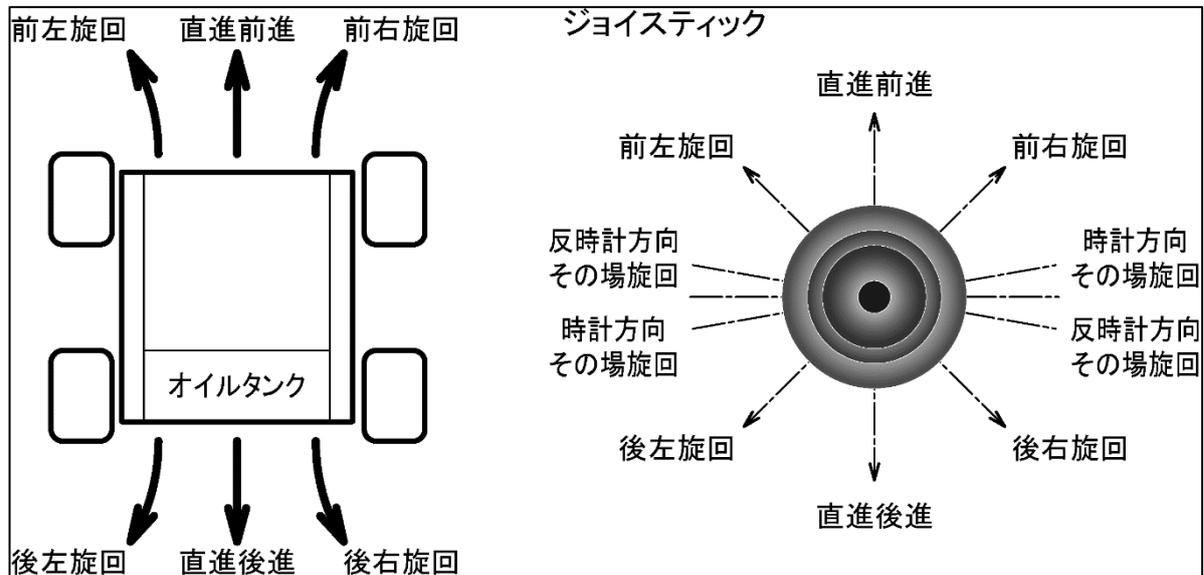


- ◆ アンテナには感度の良い部分と悪い部分があります。（指向性）
アンテナの軸から垂直方向に電波が放射または受信されますので、アンテナの向きにより、通信条件が悪くなります。
リモコンコントローラおよび本体側コントローラのアンテナは立てて使用してください。



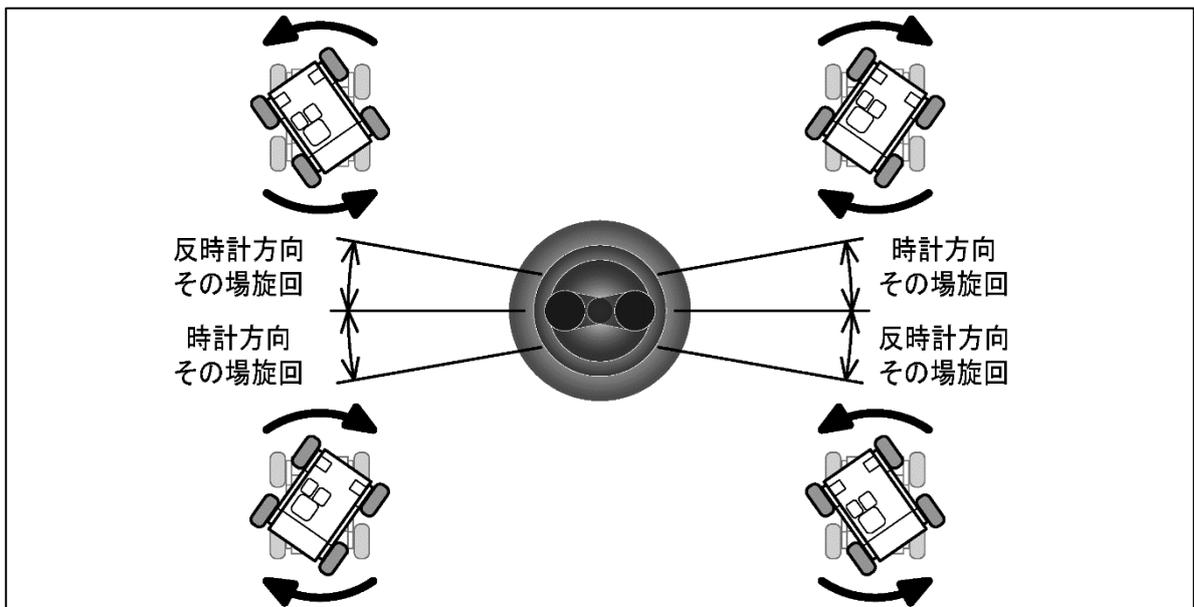
8-1-3. ジョイスティック

草刈機の進行方向・走行速度を操作できます。



補 足

- 走行・草刈り作業時はエンジン回転数ボリュームを最大にしてください。
- 前後走行・その場旋回への切換時には、タイムラグが発生し、一瞬 動作が停止します。
- その場旋回時、ジョイスティックレバーは真横より若干上か若干下で操作してください。



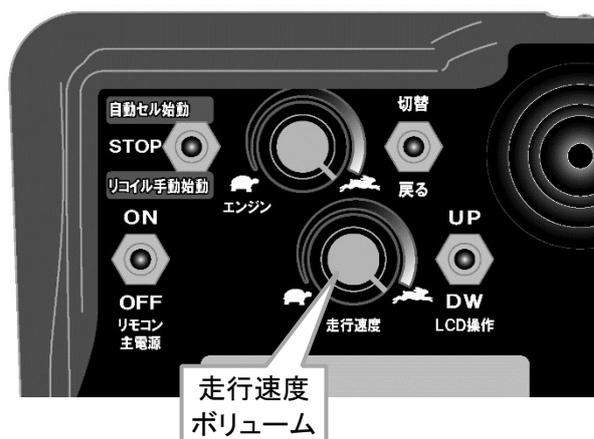
8-1-4. 走行速度ボリューム

走行・草刈り作業時の最高速度を設定できます。

草刈り処理量が多いなど低速で作業したい場合、走行速度ボリュームを「遅」方向に回して使用してください

補 足

ジョイスティックレバーの傾き角度で走行速度を調整できます。走行最大速度は走行速度ボリュームで設定した速度になります。



8-1-5. エンジン回転数ボリューム

走行を停止した時のエンジン回転数を設定できます。

ただし、作業時・走行時のエンジン回転数は自動で最大になります。

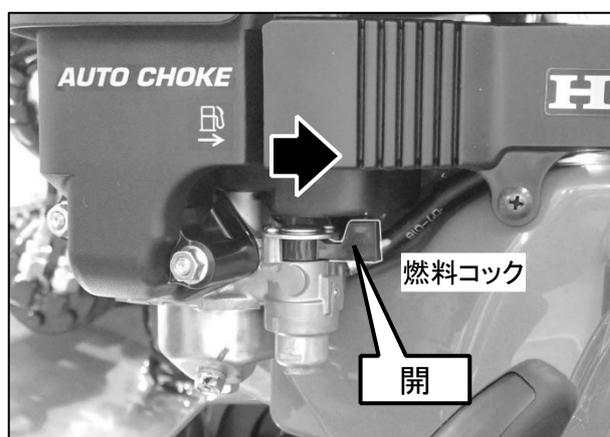
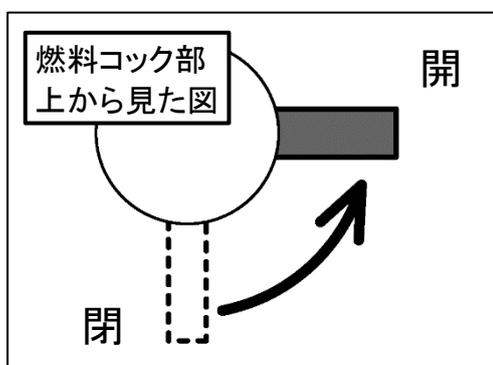
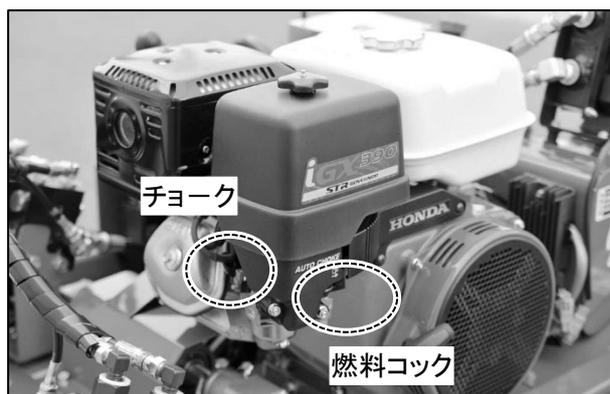
補 足

ジョイスティックレバーの傾き角度でも走行速度を調整できます。走行最大速度は走行速度ボリュームで設定した速度になります。



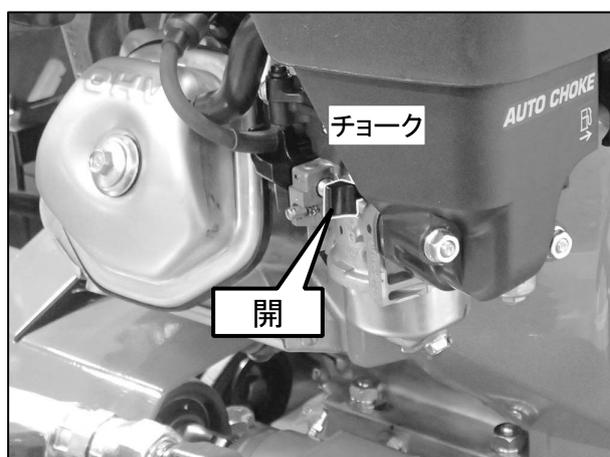
8-2. エンジンの始動

(1) 燃料コックを開く。

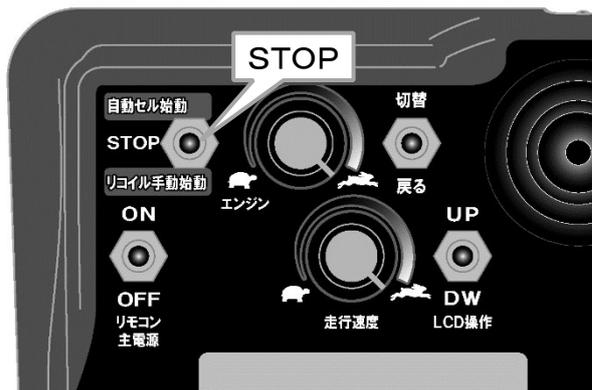


補 足

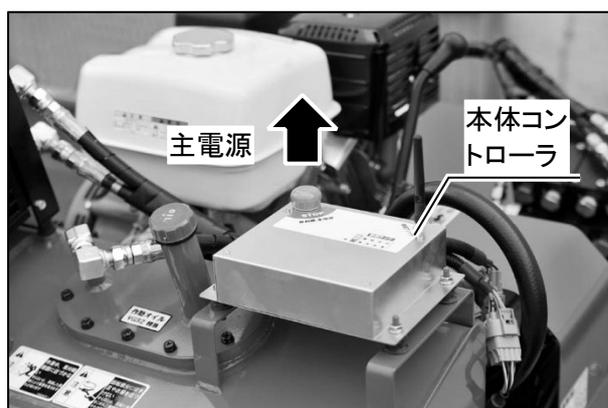
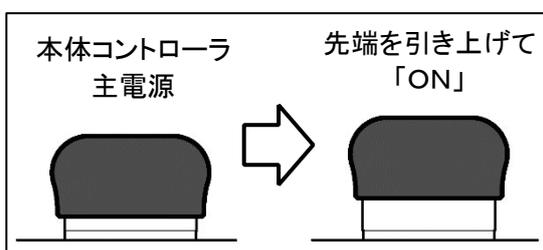
- オートチョーク方式です。チョークは図のままで大丈夫です
- エンジン始動が正常にできない時は、チョークを閉じて、始動操作をおこなってください。



- (2) コントローラのエンジン始動スイッチが「STOP」であることを確認する。



- (3) 本体コントローラの主電源の先端を引き上げ、「ON」にする。



補 足

通信が確立されるまで【無線異常】を検出しブザーが2回づつ鳴り続けます。

- (4) コントローラの主電源を「ON」にする。

補 足

両コントローラの電源を「ON」すると、無線通信がスタートします。通信が確立されるまで【無線異常】を検出しブザーが2回づつ鳴り続けます。



- (5) 【無線異常】を検出するブザー「ピッピッ」が停止後、エンジンスイッチを「自動セル始動」に切り換える。

補 足

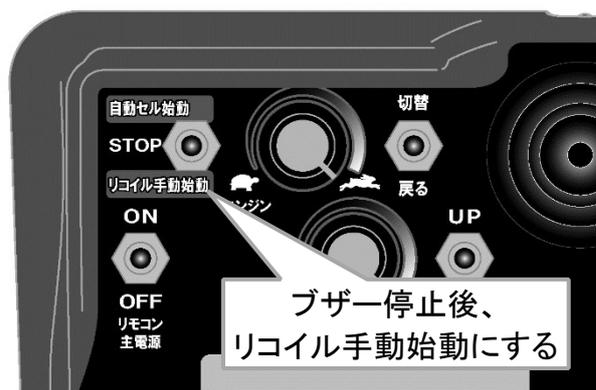
- ブザーが3回鳴り、ペアリングが完了するとエンジンが始動します。
- エンジン始動が確認できるまで30秒間隔で5回始動を試みます。

補 足

エンジンスイッチを「リコイル手動始動」にすると、リコイルによりエンジンを始動することができます。(バッテリーが弱っている場合等に活用してください)

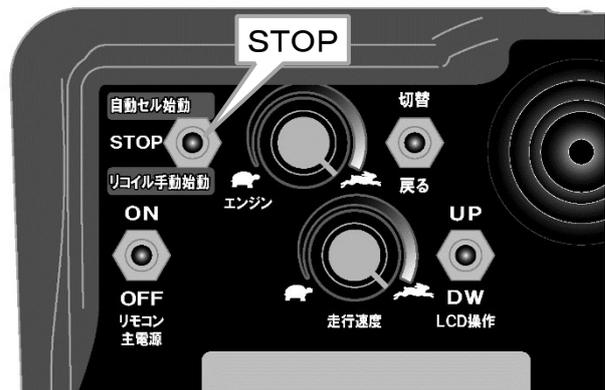
ただし、バッテリーが完全放電している時は、エンジンが始動しても走行バルブへの電流が不足しているため、走行することができません。

(エンジンが電圧降下により停止します)

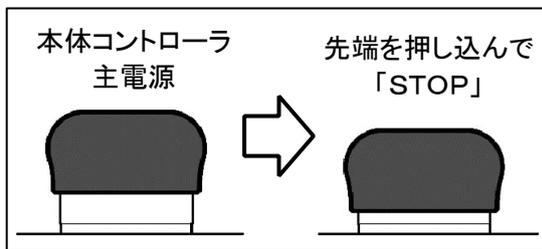


8-3. エンジンの停止

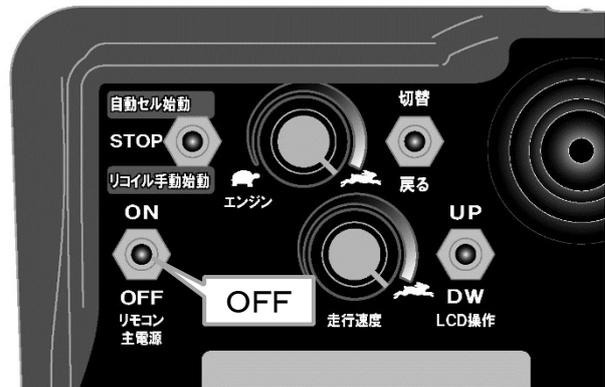
- (1) コントローラのエンジンスイッチを「STOP」にする。
草刈機のエンジンが停止します。



- (2) 本体コントローラの主電源先端を押しこみ、草刈機の電源を切る。（「STOP」）



- (3) コントローラの主電源を「OFF」にし、電源を切る。



補 足

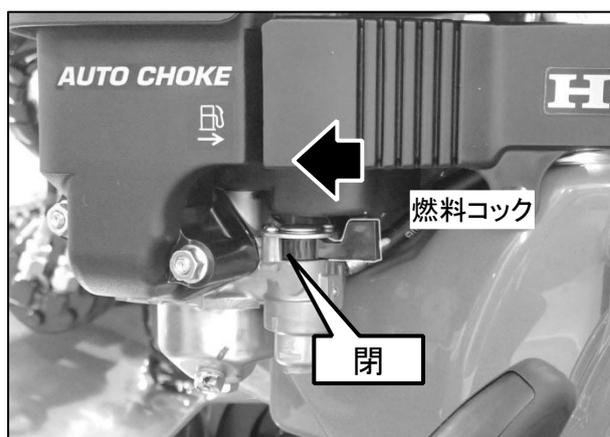
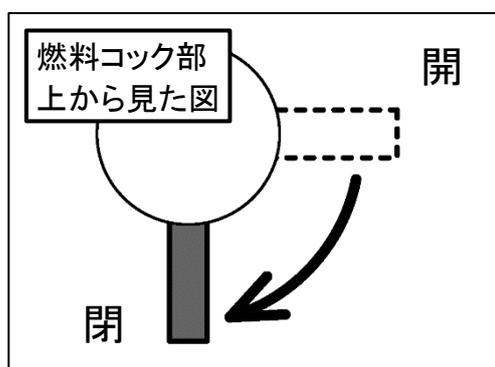
最初にコントローラの主電源「OFF」を操作した場合、【無線異常】検出後、エンジンが停止します。

本体コントローラによる主電源「STOP」の方が早くエンジンを停止できます。

(4) 本体の燃料コックを閉める。

補 足

1ヵ月以上使用しない場合、バッテリーからアース線（マイナス側配線）をはずしてください。



8-4. 草刈り操作

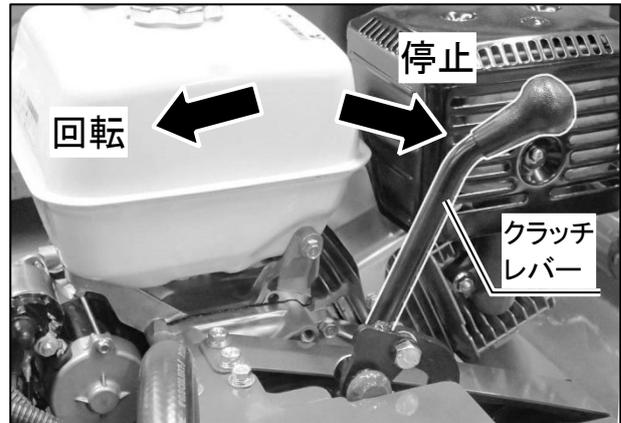
1. モア一回転・停止

- a) クラッチレバーを「モア一回転」に切り換える。

⇒ 刈り刃が回転する。

- b) クラッチレバーを「モア停止」に切り換える。

⇒ 刈り刃の回転が止まる。



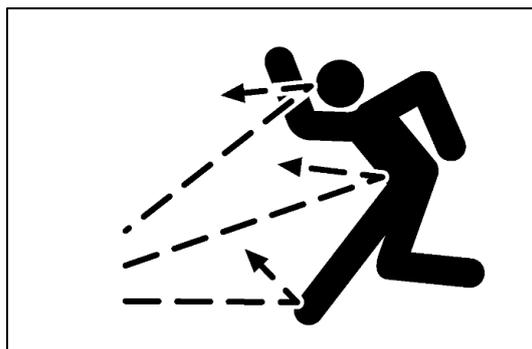
8-5. 草刈り作業の仕方



作業時は草刈機の周囲に人がいないことを確認する

【守らないと】

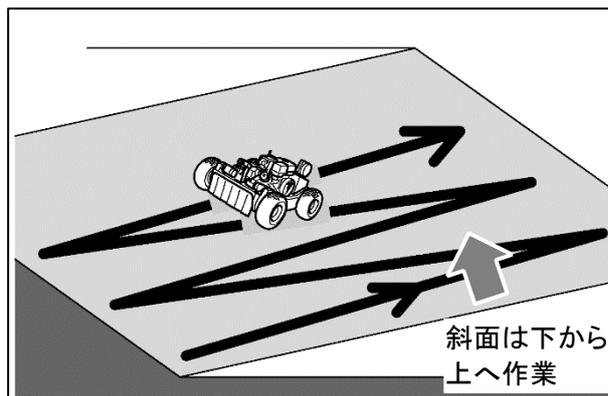
草刈機から飛散した石や破片により傷害事故となるおそれがあります。



本草刈機は手入れまたは管理されている場所の草刈りに使用してください。

- 前後進で草刈りをおこなう。
- 斜面の状況（柔らかい土質、軟弱地、濡れている、でこぼこが大きいなど）によっては走行できません。
- 斜面作業時にはガソリンを7割程度に給油してください。満タン給油しないでください。1時間ごとのこまめな給油をおこなってください。

- (1) 走行できる斜面は最大40° までです。
(ただし、斜面条件によって異なります)
- (2) 草刈り前に圃場を実際に確認し、石・杭などの障害物を取りのぞいてください。
問題となるような凹凸や溝を確認し、走行を避けるようにしてください。
- (3) 斜面では下から上に作業を進めてください。
上から下に作業を進めると、過大な斜度や障害物などの状態により、斜面上に戻れなくなることがあります。
本草刈機では等高線に沿う向きでの草刈りを推奨します。
前後進どちらでも草刈り作業をおこなえるので、等高線に沿った往復作業が効率的です。



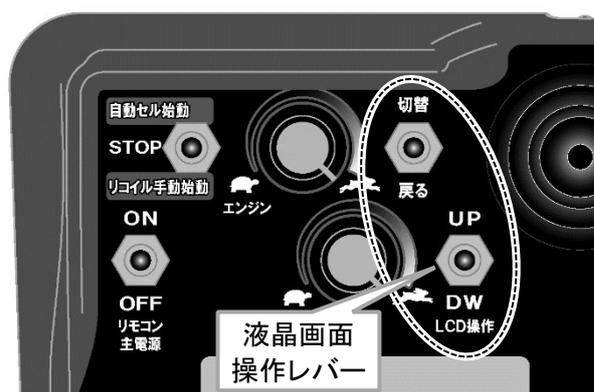
8-6. 液晶画面操作（リモコン コントローラ）

8-6-1. 切替／戻る

モードや設定画面を選択／解除します。

8-6-2. UP／DW

モードや設定画面を変更／数値を変更します。



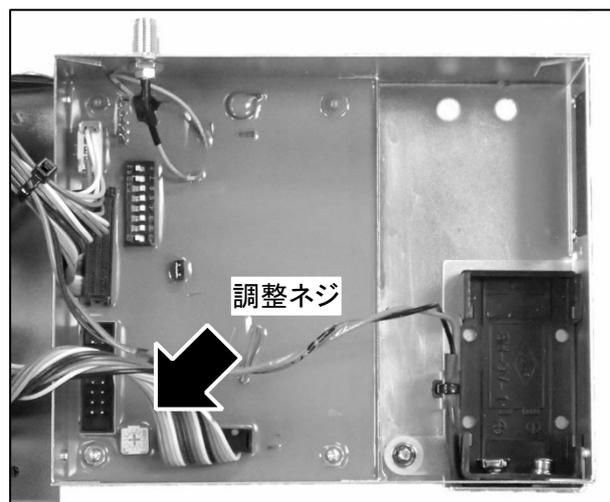
補 足

液晶画面は気温によって見え方が変化します。

リモコンコントローラのケースを開け、内部調整ネジで調整もできます。

補 足

リモコンコントローラは40℃以上の場所に長時間置かないようにしてください。液晶画面が熱により変色します。



[MEMO]

8-6-3. 液晶画面表示一覧

<p>SANYOKIKI AIR system 77メータ 36h 49m</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>ユーザ セッテイ</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>切替 → ← 戻る</p>	<p>ミシヨウ</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>スロースタート</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>切替 → ← 戻る</p>	<p>スロースタート 5</p>	<p>レバー操作からタイヤが回転し始めるまでの時間を設定します。 坂道・斜面では動き始めをゆっくりすることで タイヤの空転が少なくなり、挙動が安定します。 UP DW で数値変更。基準は5。(範囲1~10)</p>
<p>メンテナンス</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>センコ レバ - センターホセイ 512 center 100</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>切替 → ← 戻る</p>	<p>センコ レバ - センターホセイ 100 509 center 100</p>	<p>ジョイスティック上下方向の中心を補正します。 UP DW で数値を変更。 基準は100。(範囲0~200)</p>			
<p>サユウ レバ - センターホセイ 512 center 100</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>切替 → ← 戻る</p>	<p>サユウ レバ - センターホセイ 98 512 center 100</p>	<p>ジョイスティック左右方向の中心を補正します。 UP DW で数値変更。基準は100。(範囲0~200)</p>				
<p>シュツリョクホセイ 172 - 852 center 100</p> <p>UP ↑ DW ↓</p>	<p>切替 → ← 戻る</p>	<p>シュツリョクホセイ 100 509 172 - 852 center 100</p>	<p>ジョイスティック角度に対する出力を補正します。 UP DW で数値変更。基準は100。(範囲0~200)</p>				

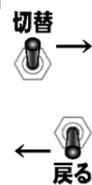
SANYOKIKI AIR system
アワメータ 36h 49m



ユーザ セッテイ



メンテナンス



センコレバ	サユレバ
512	512
センコホセイ	サユホセイ
100	95



エンジンVOL	ソケットVOL
3598	100
エンジンSW	
0	4093

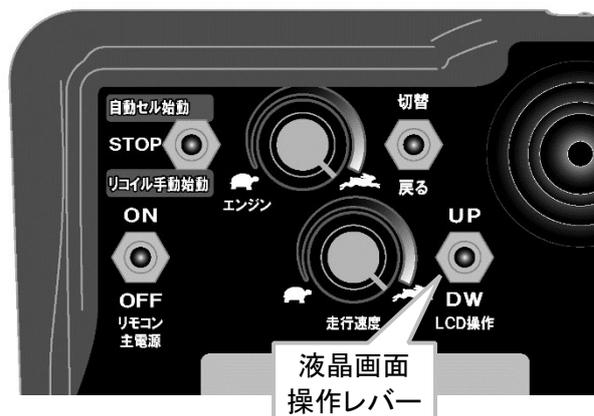
前後ジョイスティック補正後の値を示します。
左右ジョイスティック補正後の値を示します
前後補正值を示します。中心 100
左右補正值を示します。中心 100

エンジン回転数ボリュームの現在の値を示します。
走行速度規制ボリュームの現在の値を示します。
数値は最大で 3500 以上。

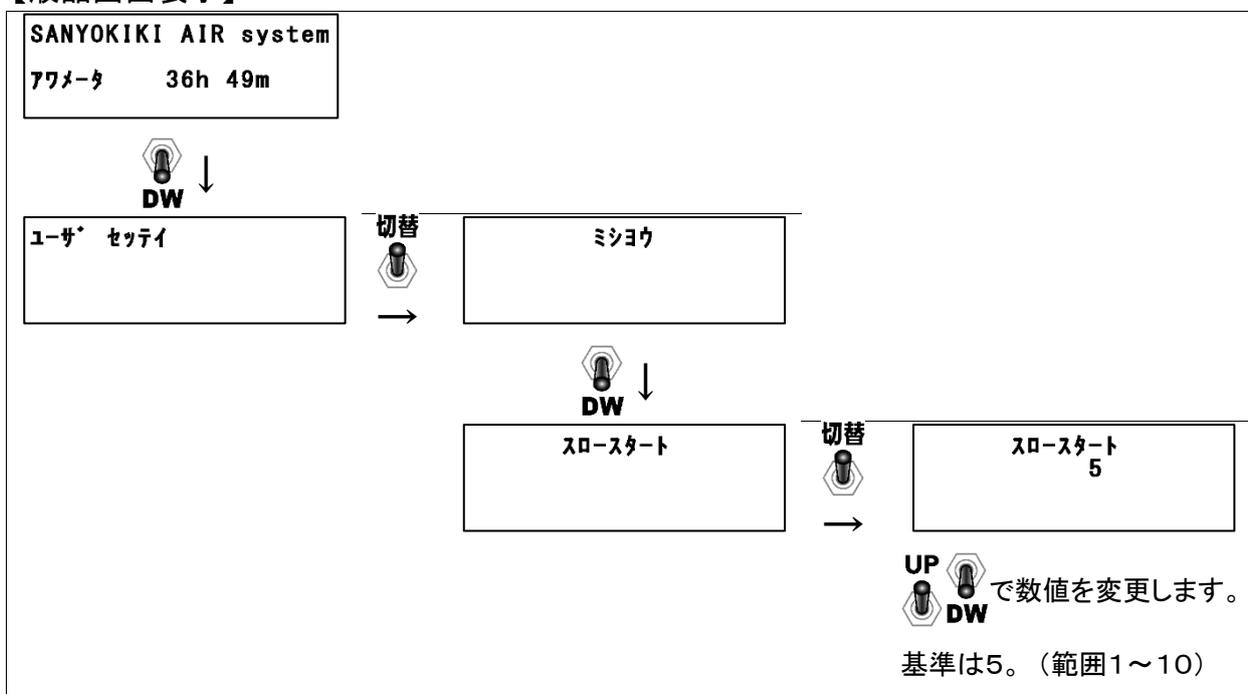
8-7. 傾斜地走行時

スロースタートモードにて、設定値を5以上に
にする。

始動時、地面を削らないようにすることで挙
動を安定させます。

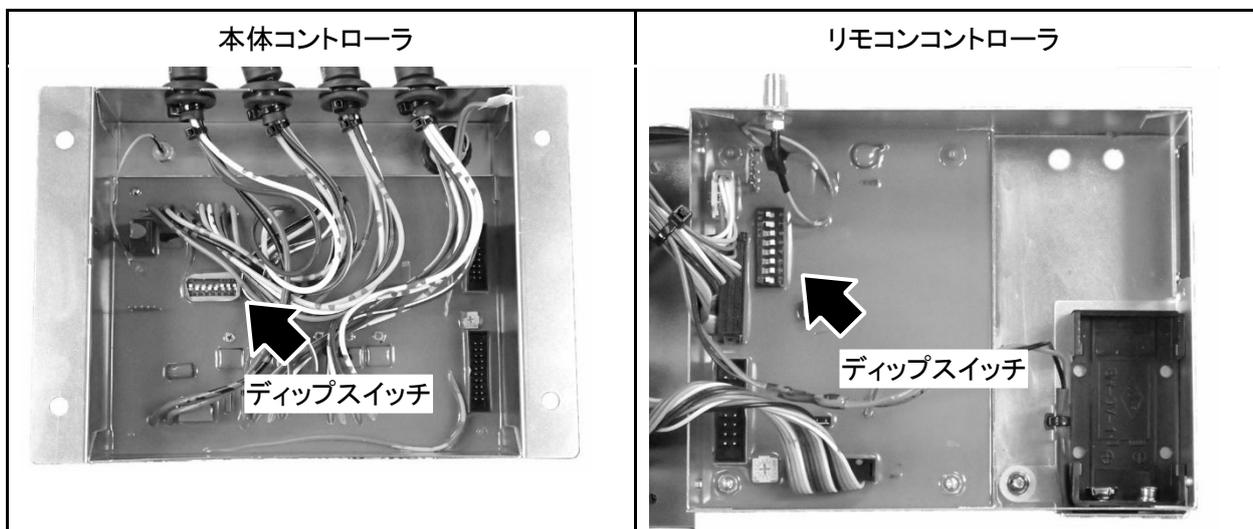


【液晶画面表示】



8-8. 無線番号設定

無線状態が悪い場合や近くで同機種が作業している場合、無線番号を変更してください。リモコンコントローラおよび本体コントローラのケースを開け、ディップスイッチを変更してください。



取扱注意

ディップスイッチの変更は2～5番でお願いします。

1, 6～8は初期設定のまま使用してください。

補 足

ディップスイッチ2～5番はリモコンと本体を同じ設定にしてください。番号設定が異なると通信異常になります。

本体コントローラ



リモコンコントローラ



2～5番間を
同じ設定に
してください。

9. 始業前点検・保守整備一覧表



- 点検をおこなうときは草刈機を平らな場所に置き、エンジンを停止してから始めてください。
 - 草刈機を安全に使用し、かつ長持ちさせるため、下記に従い始業前点検を実施してください。
- 【守らないと】死傷事故につながるおそれがあります。

- 皆様に機械を長くご愛用していただくために、また作業をスムーズにするため、下記の点検を心がけてください。
- グリスはリチウムグリス J I S 分類番号 2 号相当品をご使用ください。
- Vベルトのひび割れ・ナイフ刃の欠損など、使用部品の損傷がございましたら、ただちに良品に交換してください。
- ベアリング使用部分は、手で回して異常音・引っかかり・ガタ等がないか始業点検してください。
異常があれば良品と交換してください。

点 検 項 目	処 置	点検時間
<ul style="list-style-type: none"> ● 各部のボルト・ナットのゆるみ (目視) ● カバー固定ボルトのゆるみ ● 刈り刃ボルトのゆるみ 	目視でゆるんでいたら増締めする。(バネ座金が付部から浮いている場合) ゆるみが多発する場合は、ボルト・ナット・バネ座金を交換する。 (10. 適正締付トルク表)	始業点検 (使用前)
回転部のグリスの確認	グリスアップする。	
油圧作動油の油量確認	適正量まで補給する。 茶色く変色し劣化がひどい場合は油を交換する。 油圧作動油は、ISO VG46相当のものを使用。 (満タン12.5リットル)	
エンジンオイルの油量確認	適正量まで補給する。 汚れがひどい場合は油を交換する。 (エンジンの取扱説明書参照のこと)	
ホースの劣化確認	ホースにひび・割れ等の劣化があれば交換する。 ホースは2年毎に交換する。	
ホース表面のキズ	キズがある場合、至急交換する。	
その他、破損箇所の有無	破損箇所があれば修理または交換する。	
ホース・油圧部品からの油もれ	増締めする。またはパッキンを交換する。	
オイルクーラの汚れ	防塵網や冷却エレメントに付着したごみ、ほこりがひどければ清掃する。	
エアクリーナエレメントの汚れ	汚れがひどければ清掃・洗浄または交換する。(エンジンの取扱説明書参照のこと)	
クラッチレバーは「回転」「停止」とともに確実に作動しているか	異常があれば調整する (11-1. モアーベルトの調整)	

点検項目	処 置	点検時間
ベルトの張り具合と磨耗・損傷の有無	異常があれば調整する。	始業点検 (使用前)
● 燃料の油量 ● 燃料もれの有無	不足であれば補給する。 (無鉛ガソリン 満タン6.1リットル) ※ ただし、傾斜地で作業する場合、給油量を少なく調整してください。	
燃料タンクのキャップが確実に装着されているか	確実に装着する。	
全ての安全カバー類が装着されているか	確実に装着する。	
刈り刃の刃こぼれ・磨耗	異常があれば交換する。 (11-3. 刈り刃の交換)	
バッテリー液は不足していないか	上限ラインまで精製水を補給する。	
バッテリーの端子は汚れていないか	汚れていれば清掃する。	
各部のボルト・ナットのゆるみ	増締めする。 ゆるみが多発する場合は、ボルト・ナット・バネ座金を交換する。 (10. 適正締付トルク表)	① 初回 5時間 使用後 ② その後 50時間 使用毎
クラッチレバー部ピンの磨耗	ガタが大きければ交換する。	
チェーンのゆるみ	張りを調整する。	
Vベルトのゆるみ	張りを調整する。 磨耗のひどい場合はベルトを交換する。	
回転軸等の磨耗	磨耗がひどければ交換する	50時間 使用毎
エンジンオイルの汚れ確認	エンジンオイルを交換する。 (エンジンの取扱説明書参照のこと)	100時間 使用毎
燃料ろ過カップの汚れ	汚れがひどければ清掃・洗浄または交換する。 (エンジンの取扱説明書参照のこと)	
燃料タンク内 沈殿物	水の混入、沈殿物等あれば清掃する。	
油圧作動油の汚れ確認	オイルフィルターおよび油圧作動油を交換する。 ISO VG46相当のものを使用。 (満タン12.5リットル)	200時間 使用毎

10. 適正締付トルク表

1. 組付・点検・修理などをおこなう場合、ボルト・ナットは規定の締付トルクで締付けてください。
〔下表／単位は上段：N・m（下段：kgf・m）〕

補 足

- ボルトの材質は、ボルトの頭に打刻してある数字で見分けます。
- 締付ける前に必ず打刻数字を確認し、下表に従って締付けをおこなってください。
- 組付面や組付けのボルト・ナット・座金には油をつけないでください。

呼び径	4 T, 4. 6, 4. 8		7 T, 8 T, 8. 8		11 T, 10. 9	
	並目ネジ	細目ネジ	並目ネジ	細目ネジ	並目ネジ	細目ネジ
M5	2.8~4.0 (0.29~0.41)	----- -----	4.9~6.9 (0.5~0.7)	----- -----	6.7~9.4 (0.68~0.96)	----- -----
M6	4.6~6.9 (0.5~0.7)	----- -----	8.3~11.3 (0.85~1.15)	----- -----	11.8~15.7 (1.2~1.6)	----- -----
M8	12.8~16.7 (1.3~1.7)	----- -----	22.6~28.4 (2.3~2.9)	----- -----	28.4~36.3 (2.9~3.7)	----- -----
M10	25.5~33.4 (2.6~3.4)	39.2~45.1 (4.0~4.6)	44.1~55.9 (4.5~5.7)	48.1~55.9 (4.9~5.7)	54.0~69.7 (5.5~7.1)	60.8~70.6 (6.2~7.2)
M12	37.3~47.1 (3.8~4.8)	62.8~72.6 (6.4~7.4)	65.7~83.4 (6.7~8.5)	77.5~90.2 (7.9~9.2)	92.2~116 (9.4~11.8)	103~118 (10.5~12.0)
M14	62.8~80.4 (6.4~8.2)	108~126 (11.0~12.8)	104~132 (10.6~13.4)	124~147 (12.6~15.0)	139~175 (14.2~17.8)	167~196 (17.0~20.0)
M16	86.3~110 (8.8~11.2)	167~191 (17.0~19.5)	149~184 (15.2~18.8)	196~226 (20.0~23.0)	206~226 (21.0~26.0)	260~304 (26.5~31.0)
M18	114~141 (11.6~14.4)	245~284 (25.0~29.0)	196~235 (20.0~24.0)	275~319 (28.0~32.5)	275~334 (28.0~34.0)	343~402 (35.0~41.0)
M20	144~180 (14.7~18.3)	333~392 (34.0~40.0)	240~289 (24.5~29.5)	368~432 (37.5~40.0)	363~442 (37.0~45.0)	490~569 (50.0~58.0)
M22	200~220 (20.4~22.4)	----- -----	----- -----	----- -----	----- -----	----- -----

2. 管用ネジやホース先端金具（ユニオン部）は、全長 175mm 程度のスパナ・モンキーを使用して規定の締付トルクで締付けてください。（下表）

補 足

締め過ぎますとネジがつぶれ、油もれの原因となります。

① 管用テーパネジの場合

サイズ	締付トルク	
	N・m	kgf・m
NPT F 1/16	4.9～9.8	(0.5～1.0)
R 1/8	9.8～14.7	(1.0～1.5)
R 1/4	29.4～39.2	(3.0～4.0)
R 3/8	49.1～58.9	(5.0～6.0)
R 1/2	58.9～78.5	(6.0～8.0)
R 3/4	98.1～118	(10.0～12.0)
R 1	118～137	(12.0～14.0)
R 1・1/4	196～235.2	(20.0～24.0)

② 管用平行ネジの場合

サイズ	締付トルク	
	N・m	kgf・m
G 1/8	9.8～14.7	(1.0～1.5)
G 1/4	24.5～39.2	(2.5～4.0)
G 3/8	49.1～58.9	(5.0～6.0)
G 1/2	58.9～78.5	(6.0～8.0)
G 3/4	98.1～118	(10.0～12.0)
G 1	118～137	(12.0～14.0)

補 足

ホース先端金具（ユニオン部）の締付トルクも上表と同じです。

11. 各部の調整・交換要領

11-1. モアーベルトの調整

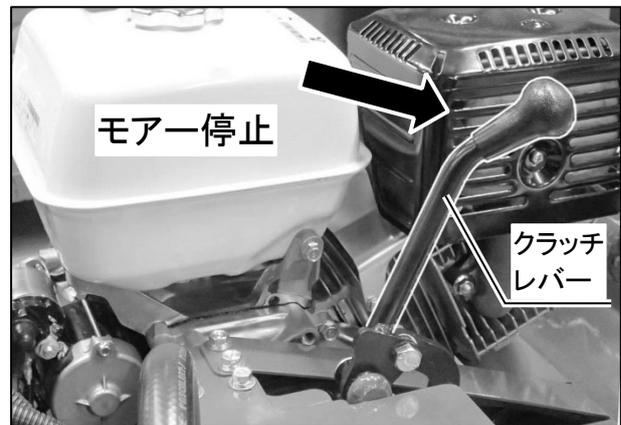
⚠ 注意

- エンジンを停止し、刈り刃の回転が完全に停止してから作業すること。
- 革手袋をはめ、直接素手で刈り刃を握らない。
【守らないと】傷害事故となるおそれがあります。

取扱注意

刈り刃交換後、刈り刃を手でゆっくり回し、左右の刃どうしが干渉しないか確認してください。
【守らないと】刈り刃の破損につながります。

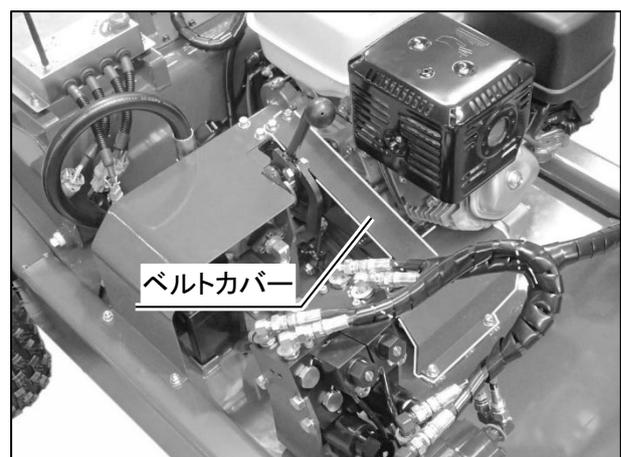
(1) クラッチレバーを「モアー停止」に操作。



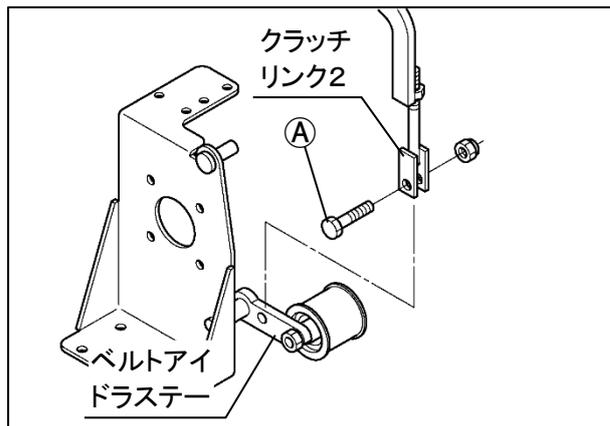
(2) エンジン停止。

(3) 刈り刃の回転が停止したことを確認。

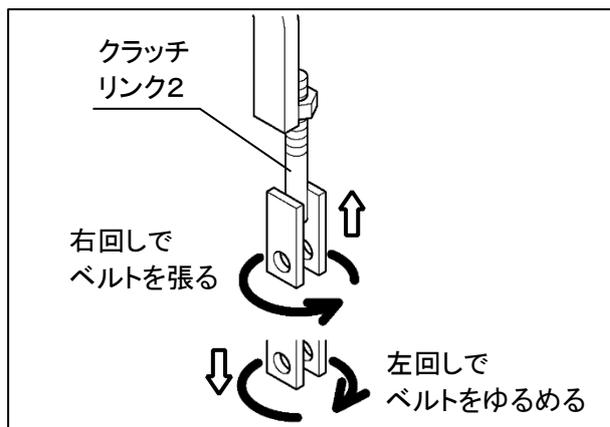
(4) ベルトカバーを取りはずす。(ボルト4箇所)



- (5) ベルトアイドラステーのボルト① (M10×30) を取りはずす。

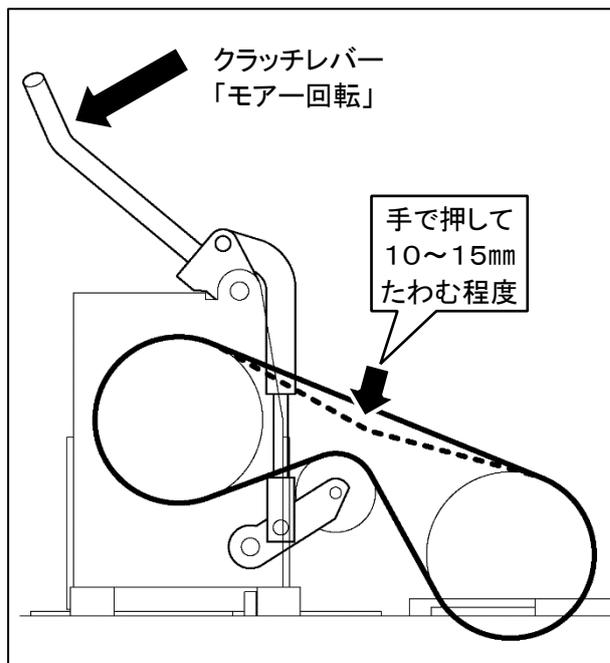


- (6) クラッチリンク 2 を回して張りを調整する。
右に回すとベルトを張る。
左に回すとベルトをゆるめる。



- (7) クラッチリンク 2 とベルトアイドラステーを(5)で取りはずしたボルトでつなぐ。
[締付トルク : 48.1~55.9 N・m
(490~570 kgf・cm)]

- (8) クラッチレバーを「モアー回転」に操作。



- (9) ベルトの張りを確認。
指で押して10~15mmたわむ程度に調整する。

- (10) クラッチレバーを「モアー停止」に操作。

- (11) ベルトカバーを元通り組付ける。

11-2. ベルトの交換

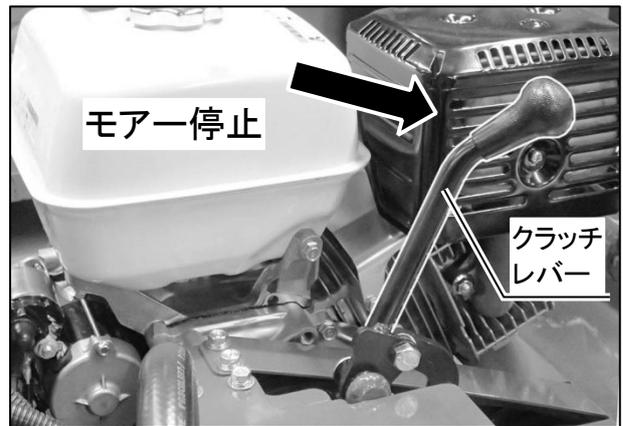
⚠ 注意

エンジンを停止し、刈り刃の回転が完全に停止してから作業する。
【守らないと】 傷害事故となるおそれがあります。

取扱注意

ベルト交換後、刈り刃を手でゆっくり回し、左右の刃どうしが干渉しないか確認してください。
【守らないと】 刈り刃の破損につながります。

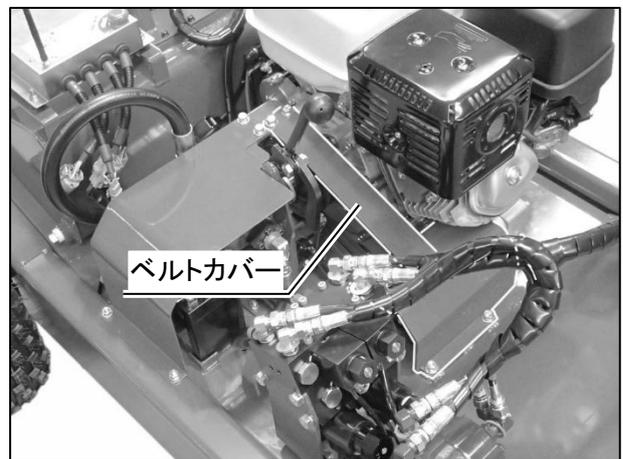
(1) クラッチレバーを「モアー停止」に操作。



(2) エンジン停止。

(3) 刈り刃の回転が停止したことを確認。

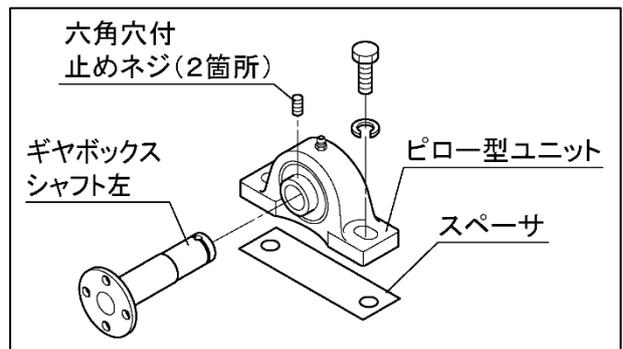
(4) ベルトカバーを取りはずす。(ボルト4箇所)



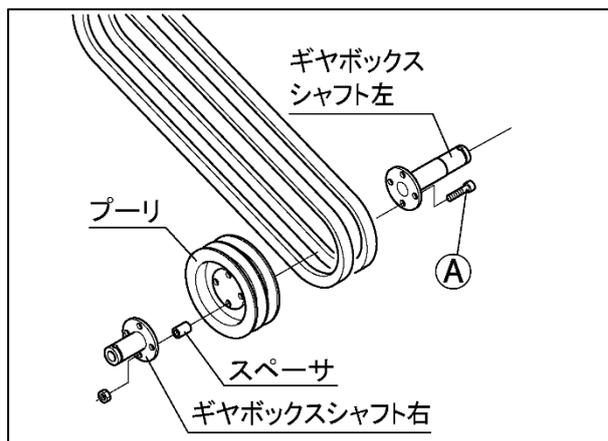
(5) ギヤボックスシャフト左をささえるピロー型ユニットのボルト(2本)と六角穴付止めネジ(2箇所)を取りはずし、進行方向左側へずらしておく。

補 足

ピロー型ユニット下のスペーサを無くさないよう注意してください。

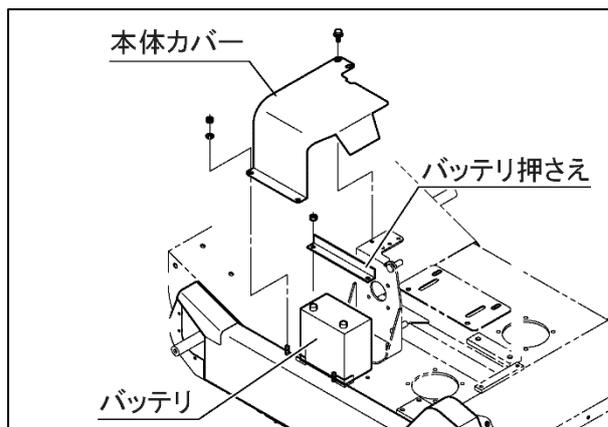


- (6) 左右のギヤボックスシャフトをつなぐ六角穴付ボルト[Ⓐ] (M8×1.25×70) を取りはずす。(ボルト4本)



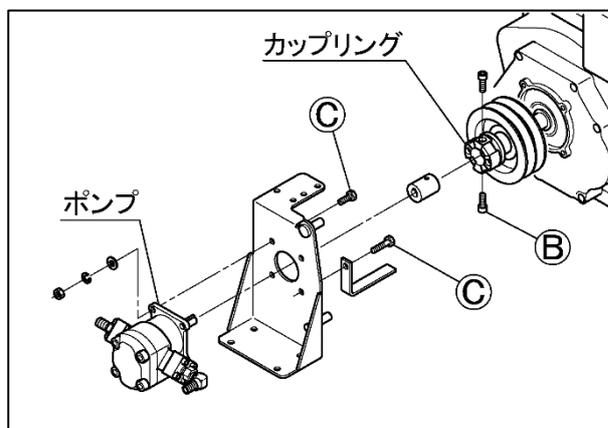
- (7) 左右のギヤボックスシャフトからプーリ・スペーサを取りはずす。

- (8) 本体カバーを取りはずす。(ボルト2本、ナット2個)



- (9) バッテリー押さえを取りはずし、バッテリーを移動できるようにしておく。

- (10) ポンプ軸のカップリング側面のボルト[Ⓑ]を取りはずす。(ボルト2本)

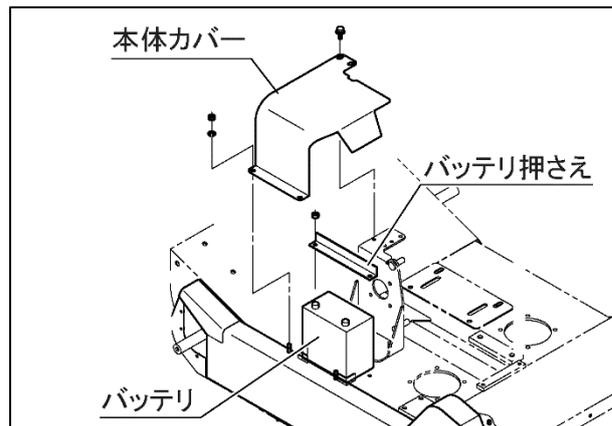


- (11) ポンプ取付ボルト[Ⓒ] (M8×1.25×25, M8×1.25×30) を取りはずす。(ボルト4本)

- (12) カップリングのすき間を使用し、ベルトを交換する。

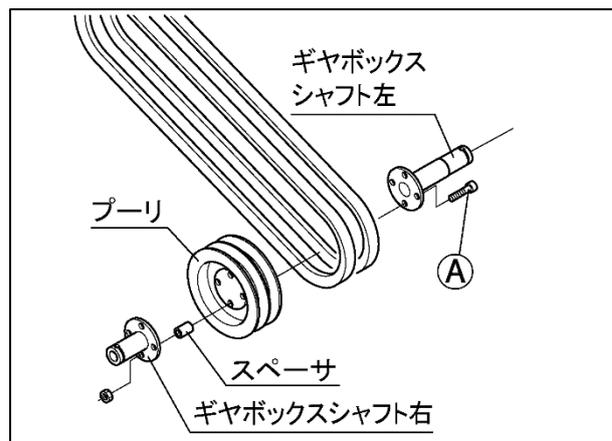
- (13) ポンプ・ポンプ軸のカップリングを元通り接続する。(ボルト[Ⓑ]2本, ボルト[Ⓒ]4本)
 [締付トルク : 22.6~28.4 N・m
 (230~290 kgf・cm)]

- (14) バッテリーを元の位置に戻し、(8)(9)で取りはずしたバッテリー押さえ、本体カバーを元通り組付ける。



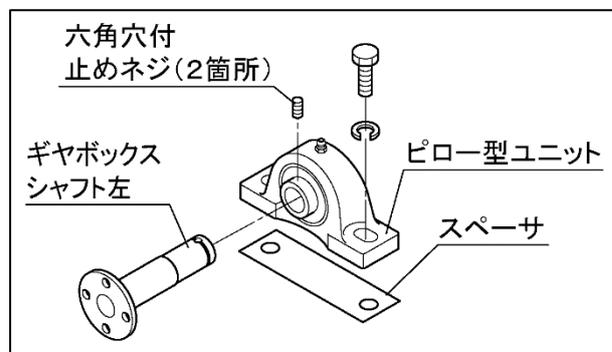
- (15) 左右のギヤボックスシャフトを六角穴付ボルトAで元通り接続する。(ボルト4本, プーリ, スペーサ)

[締付トルク : 22.6~28.4 N・m
(230~290 kgf・cm)]

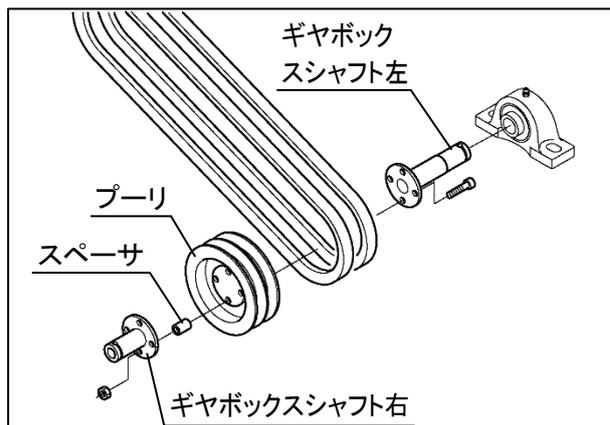
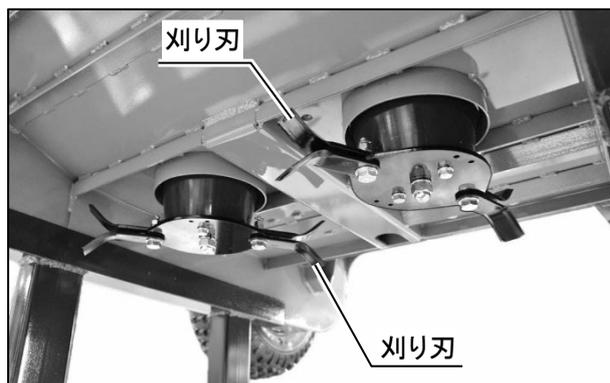


- (16) (5)で移動したピロー型ユニットを元の位置に組付ける。

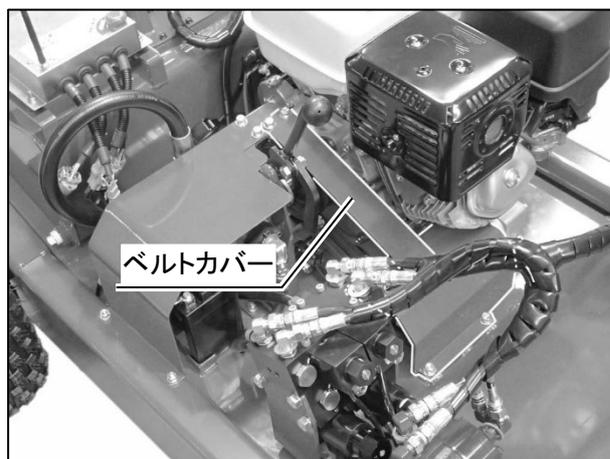
この時、スペーサ、六角穴付止めネジ(2本)を忘れないよう組付けてください。



- (17) 左右の刈り刃を手でゆっくり回し、左右の刃どうしが干渉しないか確認する。干渉する場合、左右のギヤボックスシャフトをつなぐ位置を変えてみてください。



- (18) ベルトカバーを元通り組付ける。(ボルト4本)



11-3. 刈り刃の交換

⚠ 注意

- エンジンを停止し、刈り刃の回転が完全に停止してから作業すること。
- 革手袋をはめ、直接素手で刈り刃を握らない。
【守らないと】 傷害事故となるおそれがあります。

取扱注意

刈り刃交換後、刈り刃を手でゆっくり回し、左右の刃どうしが干渉しないか確認してください。

【守らないと】 刈り刃の破損につながります。

【作業準備】

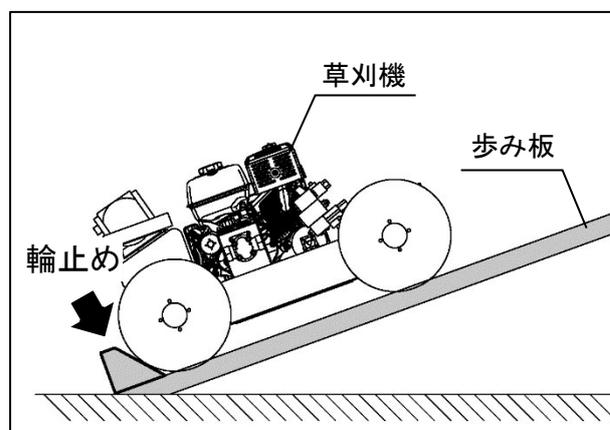
刈り刃の交換は、車体前側をクレーン等で吊り上げるか歩み板を使用すると交換作業を比較的容易にできます。

⚠ 注意

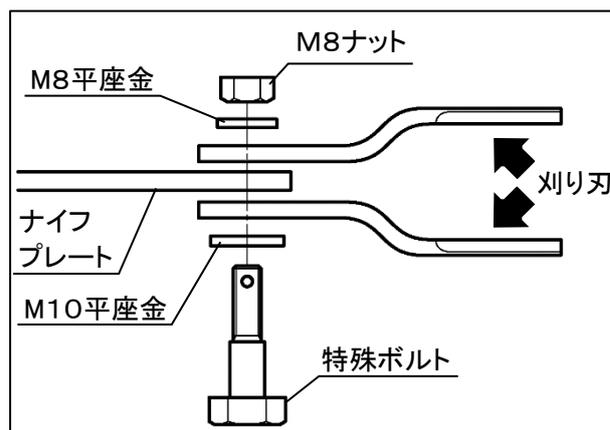
- クレーン等で吊り上げた場合、落下しないよう下からウマで支えてから作業する。
- 歩み板を使用する場合、草刈機が斜面を下りないように輪止めをしてください。

【守らないと】

傷害事故となるおそれがあります。

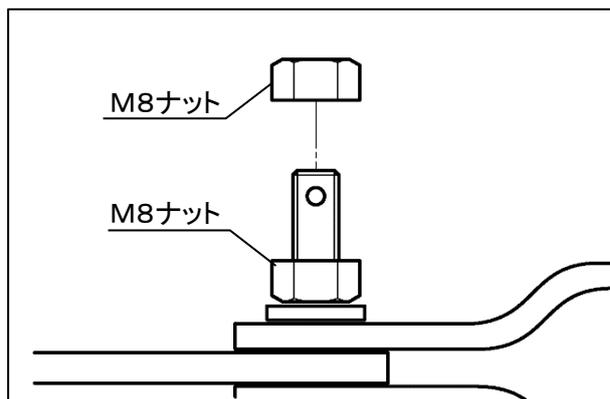


- (1) 特殊ボルトにM10平座金→刈り刃→ナイフプレート→刈り刃→M8平座金→M8ナットの順に仮組付けする。

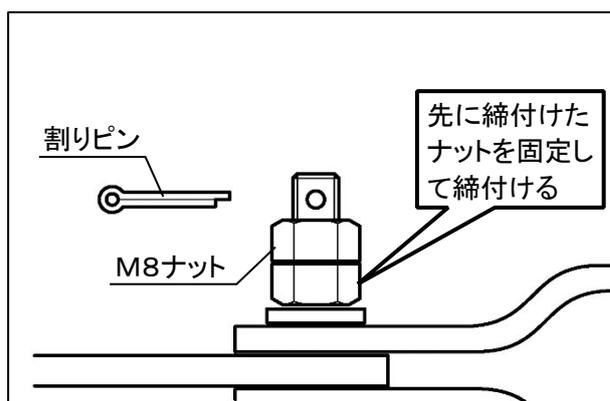


- (2) 特殊ボルトとM8ナットを締付ける。
トルク : 22.6~28.4 N·m
[230~290 kg·cm]

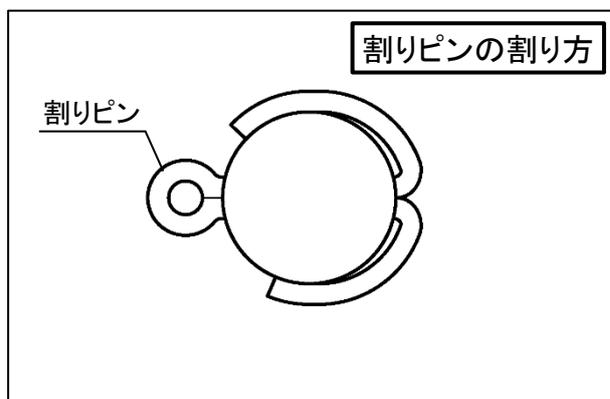
- (3) もう1つのM8ナットを特殊ボルトに組付ける。



- (4) M8ナットどうしを締付ける。
トルク：22.6～28.4 N・m
[230～290 kg・cm]



- (5) 特殊ボルトの穴に割りピンを通し、先端を割る。



11-4. 強力ピンの交換

注意

エンジンを停止し、刈り刃の回転が完全に停止してから作業すること。

【守らないと】

傷害事故となるおそれがあります。

取扱注意

刈り刃交換後、刈り刃を手でゆっくり回し、左右の刃どうしが干渉しないか確認してください。

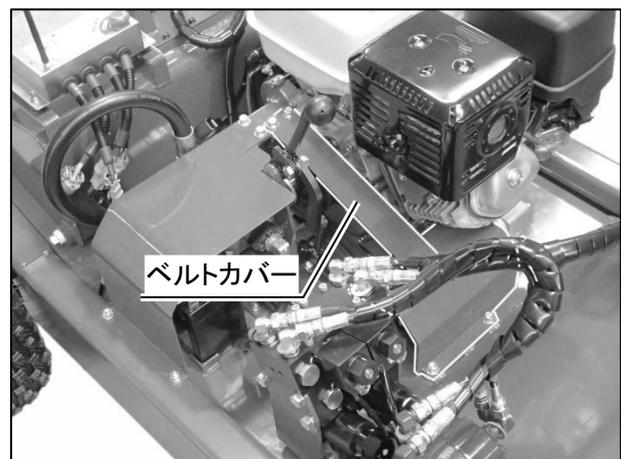
【守らないと】

刈り刃の破損につながります。

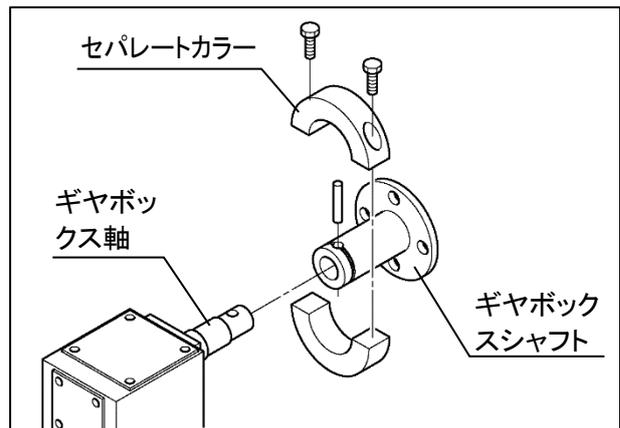
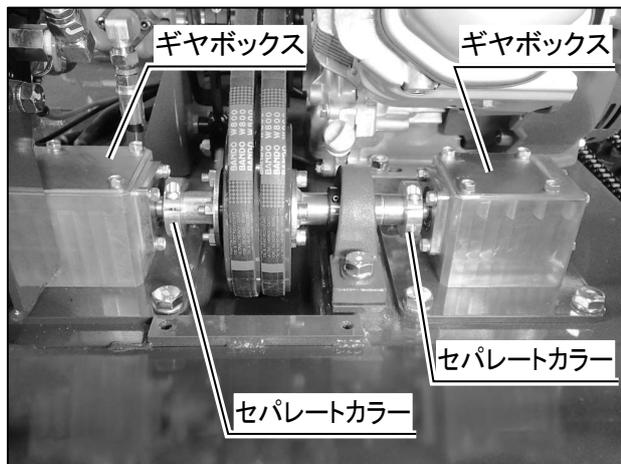
補 足

刈り刃が岩や杭などにより、一定の負荷がかかると強力ピンが折れ、刈り刃やその他機械部品保護の安全装置としての役割をします。しかし、強力ピンは安全の目安ですので、使用方法衝撃のかかり方によっては その他の機械部品が破損することがあります。

- (1) エンジン停止。
- (2) 刈り刃の回転が停止したことを確認。
- (3) ベルトカバーを取りはずす。
(ボルト4箇所)



- (4) ギヤボックスシャフトからセパレートカラーを取りはずす。(ボルト2本ではずせませず)

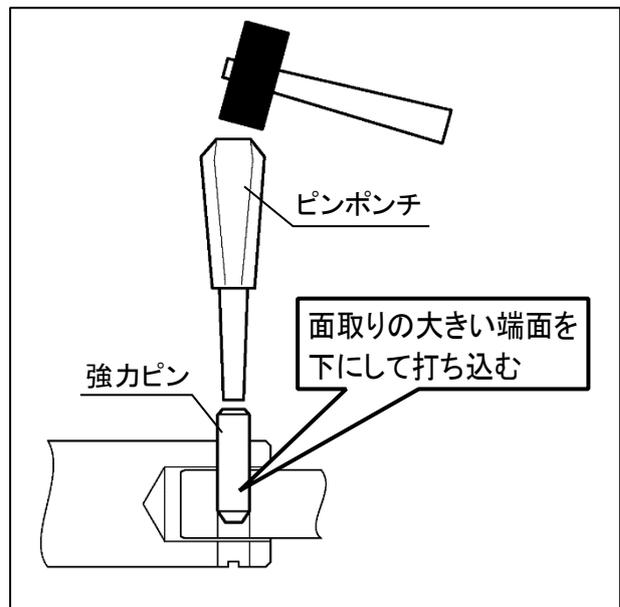


- (5) ピンポンチ等を使用して、折れた強力ピンを抜き取る。(ピン径φ6)

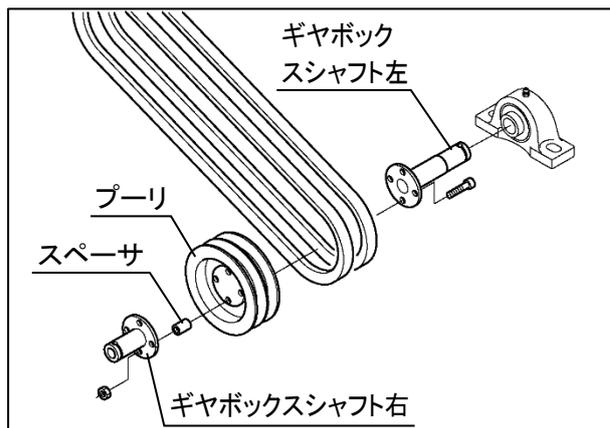
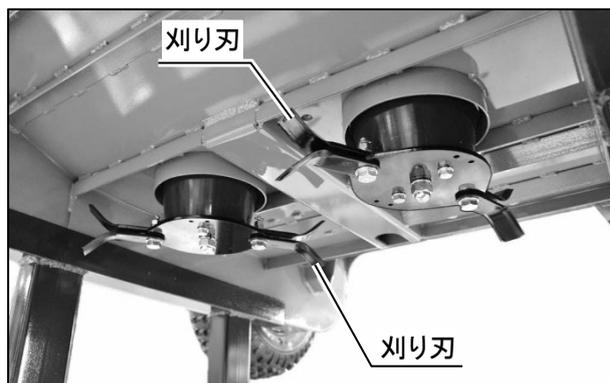
- (6) 同箇所へ強力ピンを打ち込む。

補 足

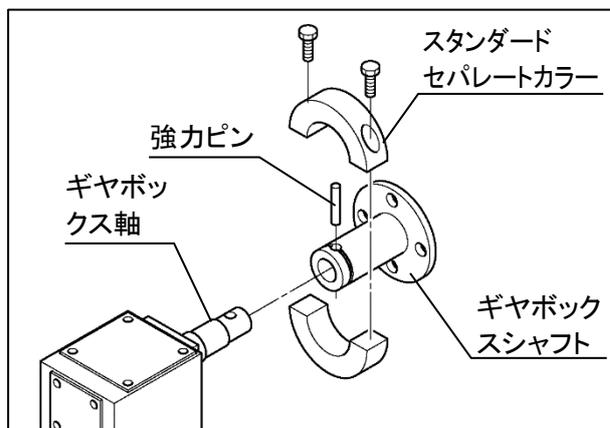
- 強力ピンは面取りの大きい端面を下にして打ち込んでください。
- 強力ピンはシャフトの両端へ均等にかかるよう打ち込んでください。



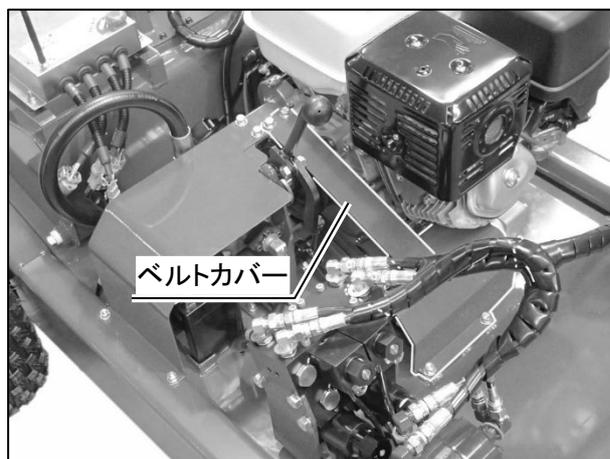
- (7) 左右の刈り刃を手でゆっくり回し、左右の刃どうしが干渉しないか確認する。干渉する場合、左右のギヤボックスシャフトをつなぐ位置を変えてみてください。



- (8) セパレートカラーを強力ピンの上で固定する。(ボルト2本は均等のトルクで締付けてください)



- (9) (3)で取りはずしたベルトカバーを組付ける。(ボルト4箇所)



11-5. チェーンの調整

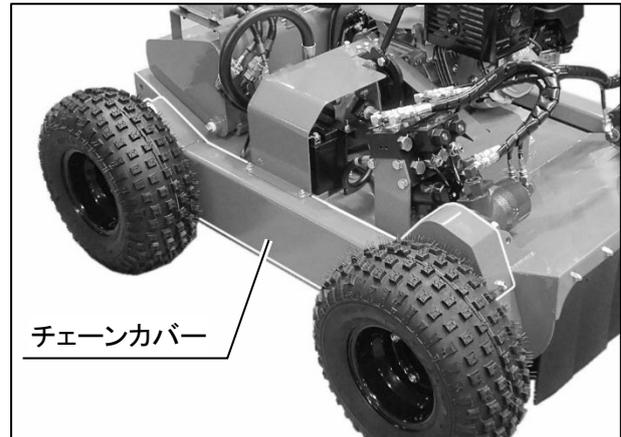


エンジンを停止してから作業すること。

【守らないと】

傷害事故となるおそれがあります。

- (1) エンジン停止。
- (2) チェーンカバーを取りはずす。

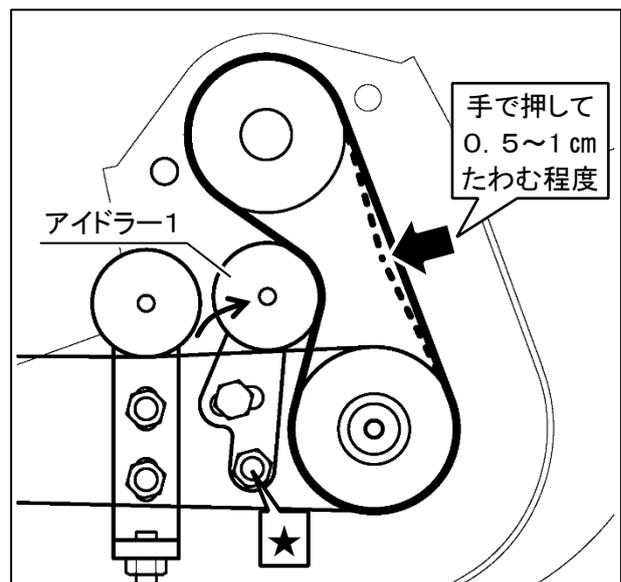


油圧モータ⇔前側車輪

- (A) アイドラー1のボルトをゆるめる。
(2箇所とも)
- (B) 軸側のボルト (★印, 2箇所) を少し締め込む

- (C) アイドラー1をずらし、チェーンの張りを調整する。

たわみ量 : 0.5~1cm程度



- (D) アイドラー1のボルトを4箇所とも締め込む。

トルク : 44.1~55.9 N・m
(450~570 kgf・cm)

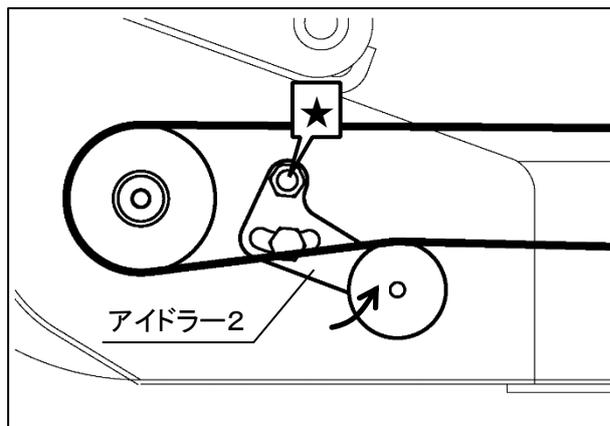
- (E) チェーンカバーを元通り組付ける。

前側車輪⇔後側車輪

(A) アイドラー2のボルトをゆるめる。(2箇所とも)

(B) アイドラー2の軸側のボルト(★印)を少し締め込む

(C) アイドラー2をずらし、チェーンの張りを調整する。



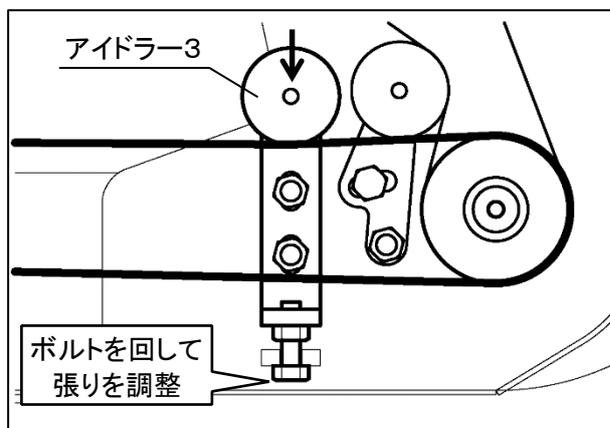
(D) アイドラー2のボルトを2箇所とも締め込む。

トルク : 44.1~55.9 N・m
(450~570 kgf・cm)

(E) アイドラー3のボルト・ナットを全てゆるめる。(3箇所)

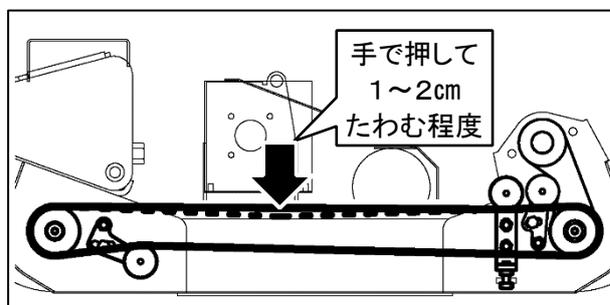
(F) アイドラー3下側のボルトを締め込み、チェーンの張りを調整する。

たわみ量 : 1~2cm程度



(G) アイドラー3のボルト・ナットを3箇所とも締め込む。

トルク : 44.1~55.9 N・m
(450~570 kgf・cm)



(H) チェーンカバーを元通り組付ける。

11-6. タイヤの空気圧

取扱注意

タイヤは必ず指定の空気圧で使用してください

【守らないと】
異常磨耗や損傷のおそれがあります。

タイヤ	空気圧
16×8.0-7	50 kPa [0.5 kgf/cm ²]

- (1) 草刈機を水平な場所に置く。
- (2) エンジン停止。
- (3) バルブキャップを取りはずす。
- (4) タイヤの空気圧を測定し、指定の空気圧に調整する。(4本とも)
- (5) バルブキャップを元通り組付ける。

補 足

タイヤがひんぱんにパンクするような場所で使用する場合、タイヤにパンク防止剤(別売)を注入してください。



11-7. 燃料・その他油脂類について

11-7-1. 燃料の補給



火気厳禁

- 給油時は必ずエンジンを停止
- くわえタバコで燃料を補給しない
- たき火など火のそばで作業しない
- 燃料がこぼれたらきれいにふき取る

【守らないと】

火災・引火爆発を引き起こし死傷するおそれがあります。

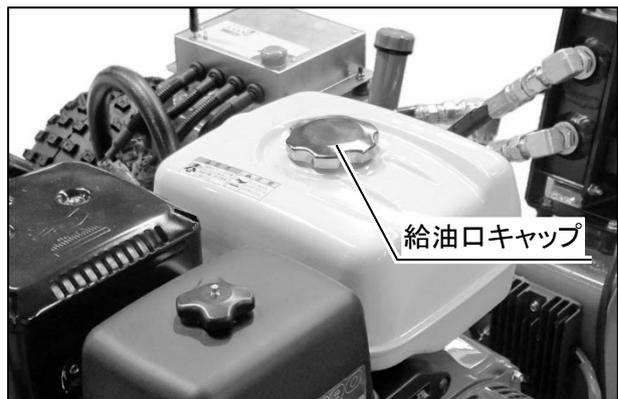
- ① 燃料は無鉛ガソリンを使用してください。



- ② 燃料タンク内に水・ゴミ等が入らないよう注意してください。



- ③ 補給完了後、給油口のキャップを確実に締めてください。（再確認すること）



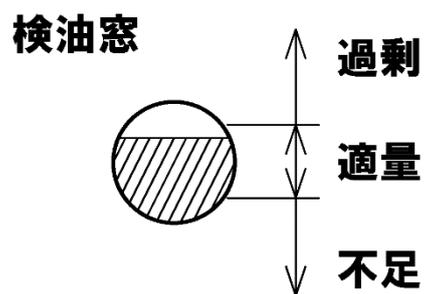
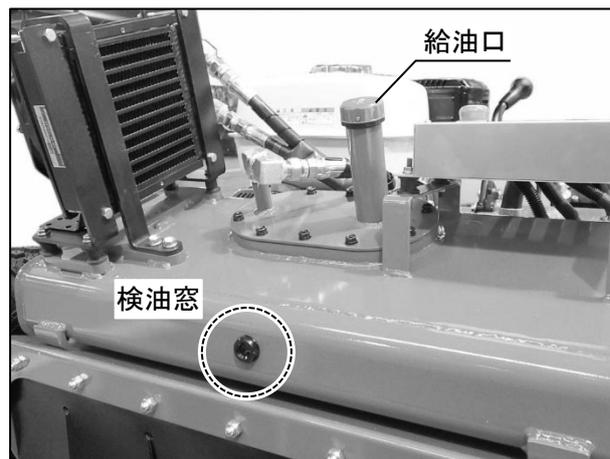
11-7-2. 油圧作動油の給油

油圧作動油は、ホームセンター等で市販のオイル粘度 ISO VG46 相当のものを使用してください。

① 水平な場所に草刈機を移動し、エンジンを停止する。

② 給油口のキャップをはずし、検油窓で油面を確認できるまで給油口より給油する。
(油がこぼれないよう、注意してください)

③ 給油口のキャップを元通り取付ける。



11-7-3. 油圧作動油の交換

取扱注意

- 廃油は必ず油受け等に取り、たれ流したりしないでください。公害の元となります。
- 廃油内に鉄粉等が混入している場合は、ギヤの磨耗などポンプ破損の前兆であり、分解検査が必要です。
お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 機械にとって潤滑油は人の血液にも相当する大切なものです。給油をおろそかにすると機械が円滑に動作しないばかりか、故障の原因となり寿命を短くします。常に点検し、早めに補給または交換してください。
- 給油中は、ゴミ・水等が入らないよう十分注意しておこなってください。

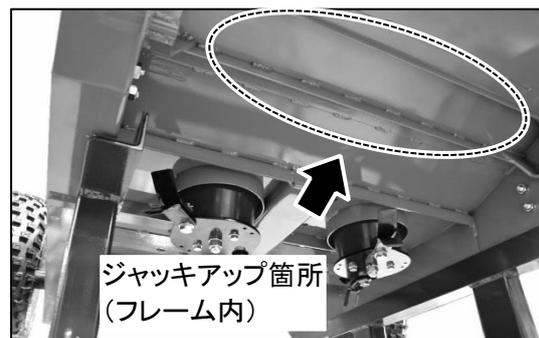
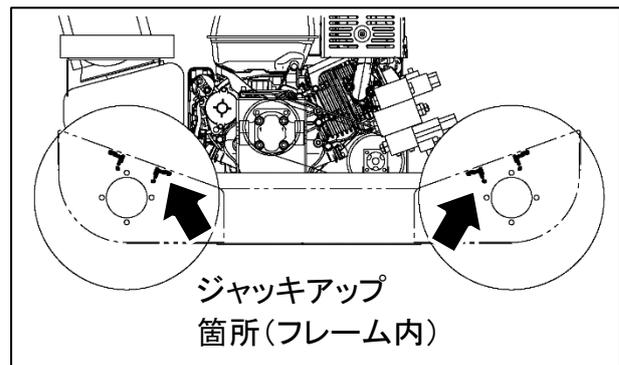


油圧作動油は、ホームセンター等で市販のオイル粘度 ISO VG46 相当のものを使用してください。

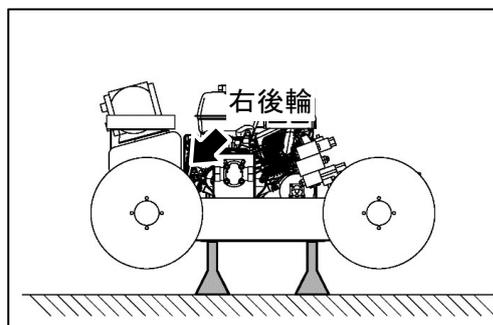
- ① 水平な場所に草刈機を移動し、エンジンを停止する。
- ② 草刈機をジャッキアップする。
ジャッキアップはフレーム内、左右の車輪をつなぐ部材にジャッキをかけて持上げてください。

補 足

ジャッキアップ後、ジャッキで保持せず必ずウマ等で支えてください。

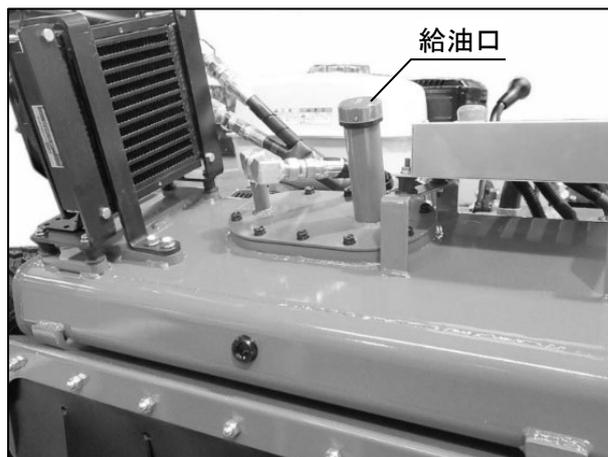


- ③ 草刈機の右後輪を取りはずす。(ボルト4本)



- ④ ドレンプラグ下に油受けを準備する。
(廃油は約12リットル排出されます)

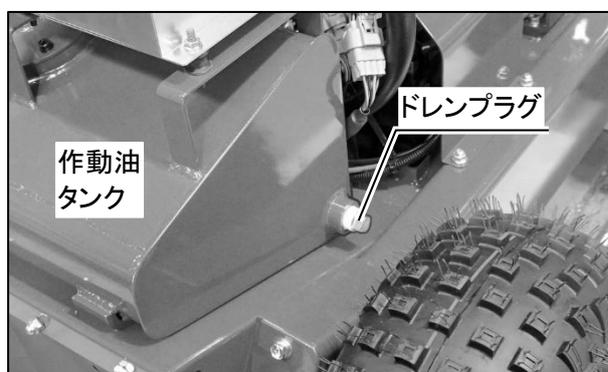
- ⑤ 作動油タンク上部の給油口キャップを取りはずす。



- ⑥ タンク下部のドレンプラグを取りはずし、廃油を排出する。

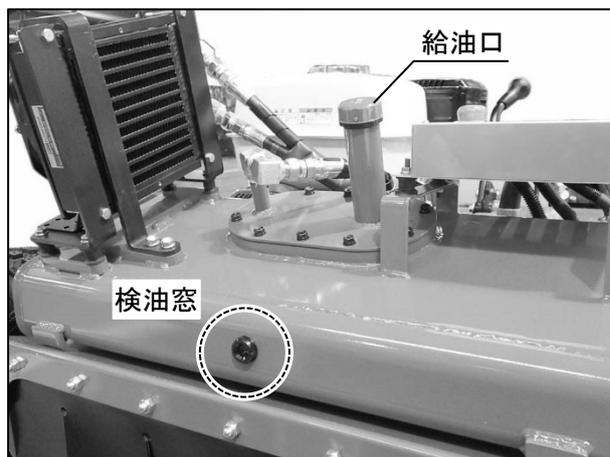
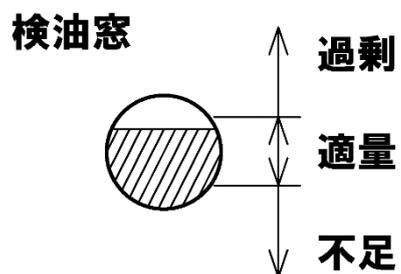
補 足

この時、じょうご等を使用して草刈機カバーに廃油がかからないようにしてください。



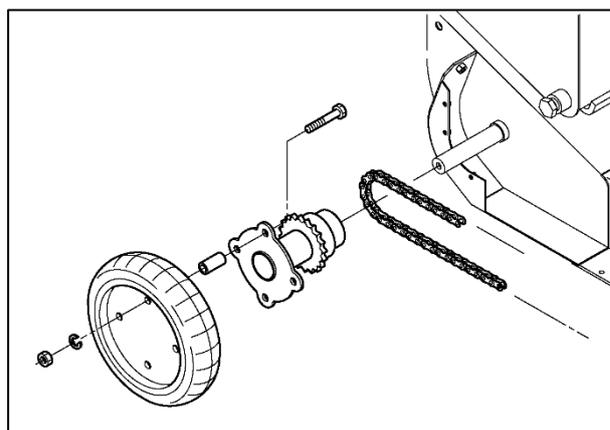
- ⑦ 油が出なくなったらドレンプラグにシールテープを巻きなおし、しっかりと締め込む。
トルク : 58.9 ~ 78.5 N・m
(600 ~ 800 kgf・cm)

- ⑧ 検油窓で油面が確認できるまで給油口より給油する。



- ⑨ 給油口のキャップを元通り取付ける。

- ⑩ 草刈機の右後輪を元通り組付ける。
(ボルト4本)
トルク : 44.1 ~ 55.9 N・m
(450 ~ 570 kgf・cm)



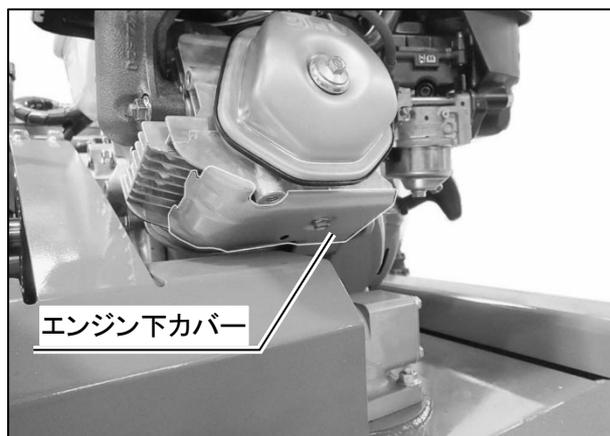
12. 作業後のメンテナンス

12-1. エンジンの清掃

取扱注意

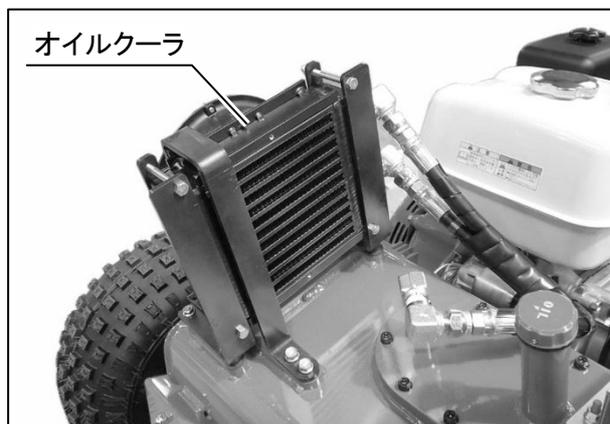
サビ、ゴミつまりの原因となるので水で流さない。

エンジン下のカバーを取りはずして清掃する。
清掃後はカバーを元通り組付けてください。



12-2. オイルクーラの清掃

オイルクーラの防塵網や冷却エレメントを圧縮空気で清掃する。

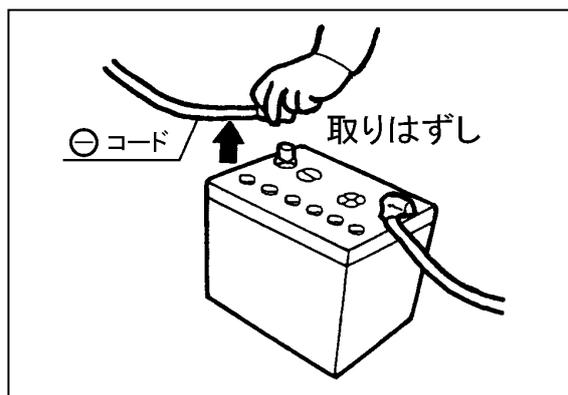


13. 長期保管

取扱注意

- 火気のある場所に保管しない。火災のおそれがあります。
- エンジンや本体側コントローラの水洗いはしない。故障や錆のおそれがあります。
- バッテリーは使用していなくても放電してしまいます。

- ① 各部を清掃した後、機械の全注油、給脂箇所に注油・給脂をする。
- ② 燃料タンクの燃料を抜き取る。
- ③ エンジンオイルは新しいオイルと交換する。
- ④ エアークリーナは、エレメントを取りはずし清掃後、再度取付ける。
- ⑤ オイルクーラを清掃する。
- ⑥ 保管場所に移動後、バッテリーのアースケーブル（-）をはずすか、バッテリーを取りはずす。また、1ヶ月に1回程度エンジンを始動して本機を動かし、エンジン・油圧系に潤滑油が行き渡るようにするとともに補充電をしてください。
- ⑦ 各部を清掃し、湿気・ほこりの少ない所に格納する。
- ⑧ エンジンが冷えてからシートをかぶせる。



補 足

寒冷地では、使用後必ず本機に付着した泥や異物を取り除いて、コンクリートや固い乾いた路面、または角材の上に駐車してください。付着物が凍結して故障の原因となります。また、凍結して運転不可能になった場合には無理に動かそうとせずに凍結箇所をお湯で溶かすか、凍結が溶けるまで待ってください。（無理に動かした場合の事故については責任を負いかねますので特にご注意ください）

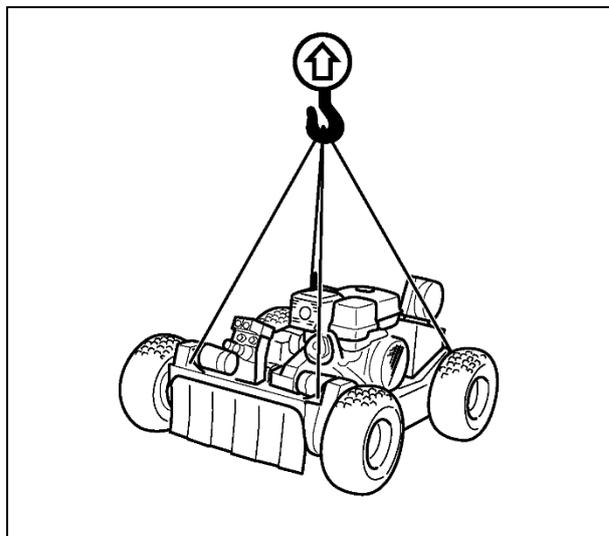
14. クレーン等による吊り上げ

⚠ 注意

- 吊り上げた草刈機の下に入らない。
- クレーン操作・玉掛けには資格が必要です。資格取得されていない場合、作業をおこなわない。
- 吊り上げに使用するロープ・チェーンは草刈機の重量に対して十分強度のあるものを使用する。
- 吊り上げる時は重心位置およびバランスに注意する。

【守らないと】

落下して傷害を負うおそれがあります。

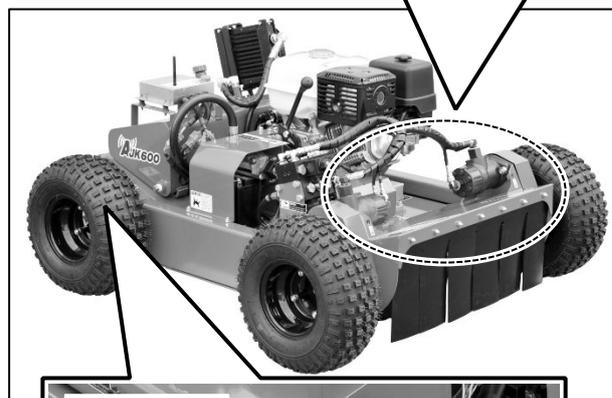
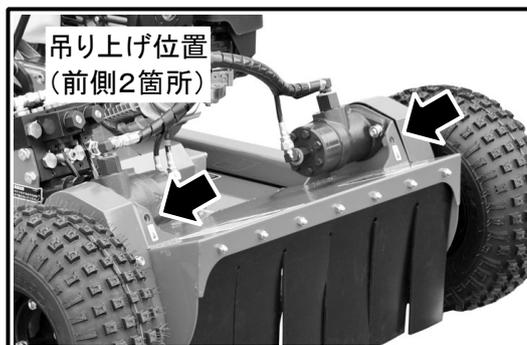


- (1) 草刈機の吊り上げ位置に草刈機付属のアイボルトを組付ける。

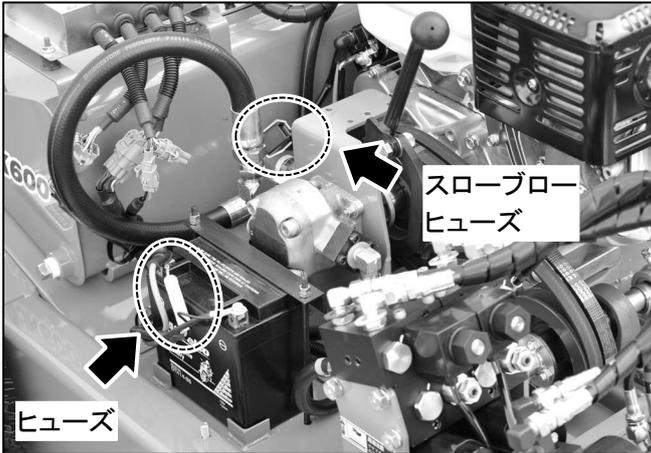
取扱注意

アイボルトは奥までねじ込んでください。

- (2) アイボルトにロープ・チェーンをかけ、吊り上げる。



15. 消耗部品

品名	品番, 型式	交換の目安
エンジンオイル	10W-30 1.1 L	6か月または 100時間毎
作動油	ISO粘度, 46等級相当 12.5 L	200時間毎
Vベルト	A315200140(ノ1本) SB35, 2本ノ1台	破損時
ナイフ刃セット	T39030520-1(ノ1セット) AJK600, 1セットノ1台	磨耗・破損時
チェーン	A300110090(ノ1本) 40NL, 2本ノ1台, 油圧モータ⇔前輪	500時間毎
チェーン	A300110100(ノ1本) 40NL, 2本ノ1台, 前輪⇔後輪	500時間毎
ジョイントリンク	A300110080(1個) KCM40NL-JL, ジョイントリンク・クリップ	チェーン交換時
ジョイントリンク	A300110120(1個) RS40-1-FJL, プレート	チェーン交換時
バッテリー	A310050300(ノ1個) MMOED-14-BS, 1個ノ1台	破損時
フラッパ	T39033910-1(ノ1枚) AJK600, 2枚ノ1台	破損時
タイヤ	A300050120(ノ1本) AT16×8.0-7, 4本ノ1台	磨耗时
ヒューズ	20A(1個:ヒューズ) 30A(1個:スローブローヒューズ) 	破損時

補 足

エンジン関連の詳細についてはエンジンの取扱説明書を参照してください。

16. トラブルシューティング

万一草刈機の調子がおかしい・具合が悪い・などの場合には、次ページにより点検し、適切な処置をしてください。

1 点検をおこなう前に



- 草刈機のエンジンを停止する。
- エンジンをかけて点検・修理する必要がある場合、草刈機の走行・作業範囲内に入らない。
- 草刈機の下に入らない。
【守らないと】
草刈機の下敷きになって、死傷するおそれがあります。

2 点検中の注意

- 草刈機の型式および機番を確認し、不具合の内容を詳細にメモしてください。
(後で連絡するときに便利です)
- 作動不良・作動不具合は、大半が配管間違いや配線不良によるものです。
今一度、取扱説明書をよく読んでいただき十分確認してください。
- 型式により、同じ不具合でも処置が異なる場合もありますので、十分注意・確認してください。

3 点検後

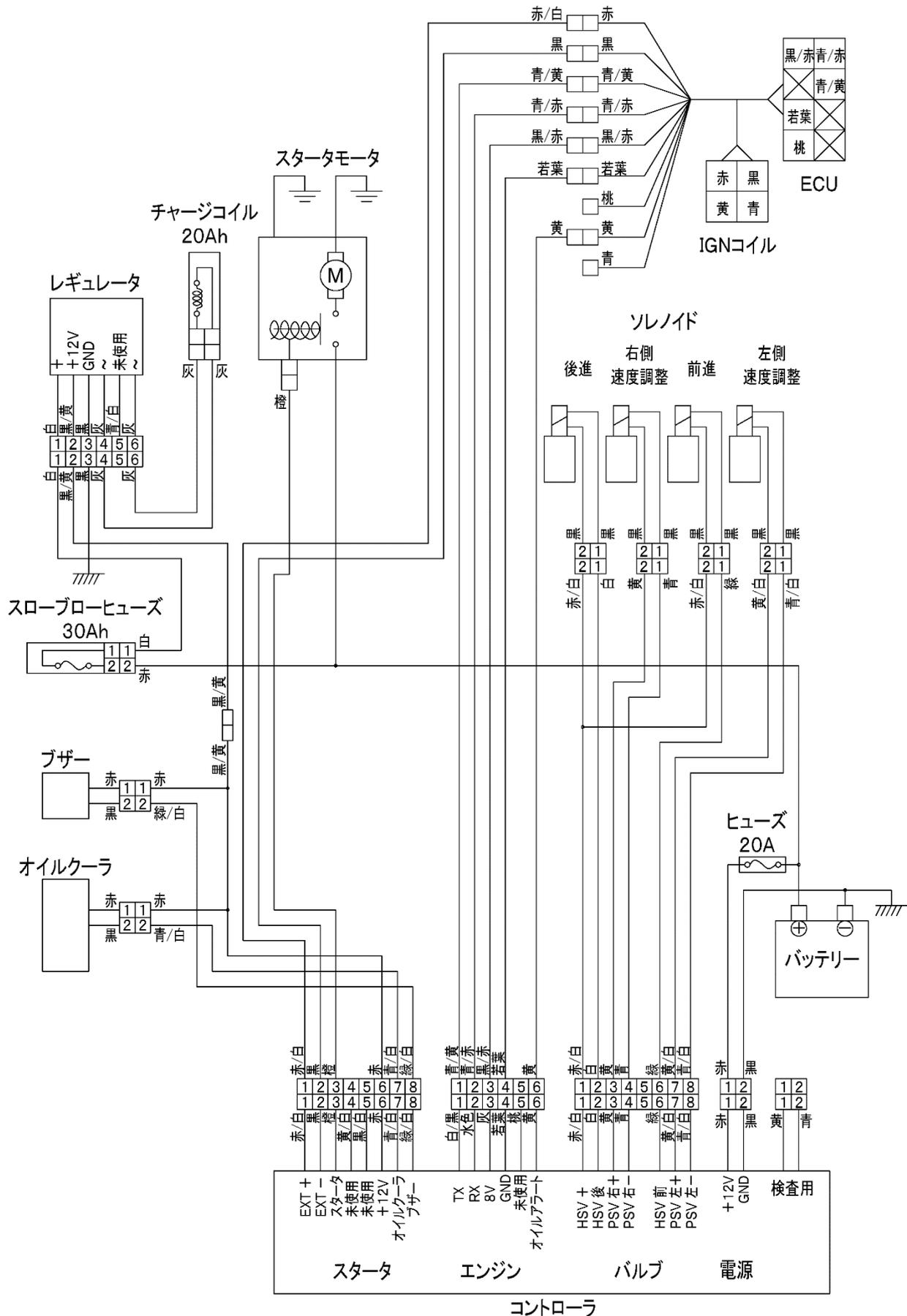
- 点検・処置しても①原因がわからない、②正常にならない場合は、本製品お買い上げの「販売店」「JA」（農協）までお問い合わせください。
- 油圧部品、特にバルブ等は精密機械ですので、分解・修理は専門の技術サービスマンにお任せください。

16-1. トラブル現象と対応

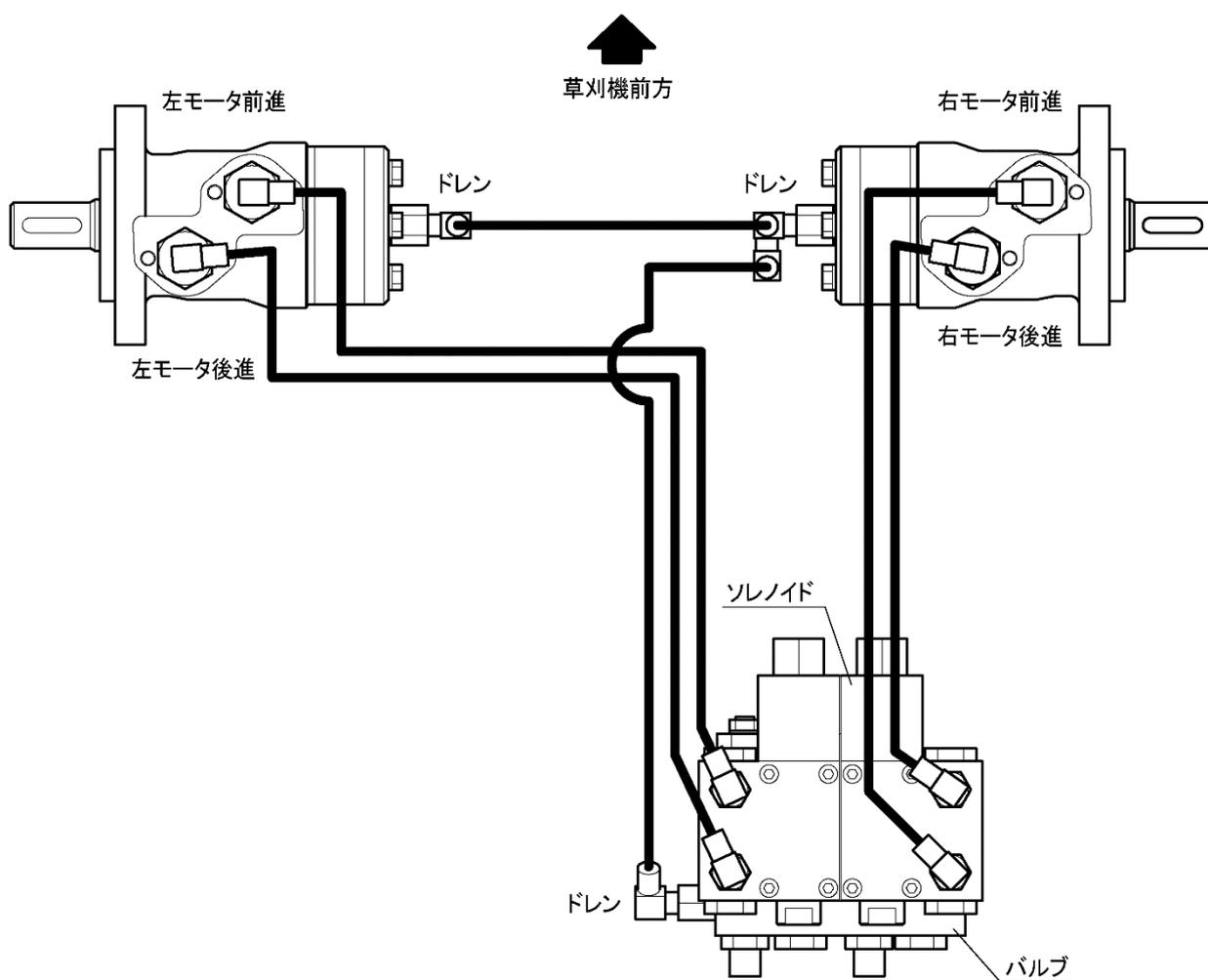
現象	原因	対応
本体側主電源が入らない (エラー表示「ホンタイカラノ ツウシンイジョウ」)	バッテリー端子がはずれている	バッテリー端子をつなぐ
	バッテリーが放電	バッテリーを充電
	ヒューズが切れている	ヒューズを交換
油圧部品からの油もれ	パッキンの磨耗・劣化	修理に出す(パッキン交換)
油圧接続部からの油もれ	接続部がゆるんでいる	増し締めする
振動が多い	刈り刃は欠けていないか(バラ ンスがくずれている)	刈り刃を交換
走行速度が遅い	リモコンコントローラの走行速 度を遅くしている	リモコンコントローラの走行速度を 速くする
	作動油量が少ない	作動油追加
	作動油が汚れている	作動油の交換
	油温が高い	⇒「油温上昇がはげしい」参照
	斜面を登っている	異常ではありません
	油圧ポンプ効率の低下	油圧ポンプを交換
	油圧モータ効率の低下	油圧モータを交換
直進できない (右旋回または左旋回のみ)	油圧バルブから油圧モータ間 の配管接続間違い	配管を正しくつなぎ替える
	コントローラから油圧バルブへ の配線接続間違い	配線を正しくつなぎ換える
	油圧バルブのゴミ詰まり	エンジン停止し、プッシュピンを数 回押しこむ。 改善されない場合、修理に出す。
	油圧モータの破損 (回転しない)	油圧モータの交換
旋回できない	チェーンのゆるみ	チェーンの張り調整
	チェーンの断裂	チェーンの交換
	油圧モータの破損 (油圧が働かない)	油圧モータの交換
斜面を登れない (トルクが小さい)	斜面の傾斜が急すぎる	緩やかな斜面を選んで登る 斜面を斜めに登る
	油温が高い	⇒「油温上昇がはげしい」参照
	コントローラから油圧バルブへ の配線接続間違い	配線を正しくつなぎ換える
	油圧リリーフ弁の圧力低下	油圧リリーフ弁を交換
	油圧ポンプ効率の低下	油圧ポンプを交換
	油圧モータ効率の低下	油圧モータを交換

現象	原因	対応
ジョイスティック中立で前または後ろに動く。 走行LED点灯がしていないが油圧バルブから出力されている。	エンジン停止し、油圧バルブのプッシュピンを数回押し込む(4箇所とも)	エンジン始動して再確認。 正常にならない場合、修理に出してください
斜面で駐停車すると、ゆっくり草刈機が下がってくる	油圧モータの内部油もれ	異常ではありません 輪止めを使用してください 平坦地で駐停車してください
走行ができない 本体コントローラのLEDは点灯	油圧バルブが切り換わっていない	エンジン停止し、ソレノイドのプッシュピンを数回押し込む。 エンジン始動し、再確認。 動かない場合、修理に出してください
	チェーンのゆるみ	チェーンの張りを調整
	チェーンの断裂	チェーンの交換
	コントローラからバルブ間配線の断線 コネクタ接続不良	断線を修理してください コネクタを接続してください
油温の上昇がはげしい	オイルクーラの目詰まり エンジンカバーの目詰まり	オイルクーラの清掃 エンジン清掃
	オイルクーラのファンが回っていない(断線もしくはオイルクーラの破損)	断線を修理 またはオイルクーラを交換
	作動油が少ない	作動油を追加
エンストする	燃料が少ない	燃料を給油
	モアーに草が絡まっている	絡んだ草を取りのぞく
	燃料ホースにエアが入っている	エンジンの燃料ドレンプラグをゆるめ、エアを抜く
モアーを動かすと「ギー」と音がする	グリスが切れている	ギヤボックス内にグリス塗布 (リチウム系グリス 約30cc)
刈り刃が回転しない	強力ピン破損	強力ピンを交換
	刈り刃に何かが絡んでいる	絡んでいるものを取りのぞく
	Vベルトがゆるんでいる	Vベルトの張り調整
クラッチレバー「モアー停止」にしても刈り刃が回転したまま。 刈り刃の回転が停止しない。	Vベルトの調整不良 (とも回りしている)	クラッチレバーを調整 ベルト押さえを調整
刈られていない部分がある	刈り刃が曲がっている 刈り刃が折れている	刈り刃の交換
	刈り刃の磨耗	刈り刃の交換
左右の刈り刃どうしが当たる	強力ピンが折れている	強力ピンを交換
チェーン部から異音がする	チェーンのたるみ	チェーンの張りを調整

16-2. 電気配線図



16-3. 油圧配管図



16-4. リモコンコントローラの異常表示、 コントローラのブザーとLED点滅の対応

ブザー回数	本体LED点滅	リモコン異常表示	対応	原因	
なし	なし	デンチ コウカン シテクダサイ	電池を交換してください。 【アルカリ電池 9V 6P型】	補足 アルカリ電池【FUJITSU Premium 6LR61】で約5時間使用が目安になります。 電池交換を表示されてから約30分使用可能です。 気温により使用時間が短くなる場合があります。	補足 充電電池（ニッケル水素，Ni-MH）【TOSHIBA IMPULSE 6P, 充電器TNHC-62 2SC】を使用される場合、使用可能時間は短くなります。 また、電圧降下が比較的急なので、電池交換の表示が見えないことがあります。
なし	なし	ゼンゴレバー ショキイジョウ	ジョイスティックを中立に戻してください。		
なし	なし	サユウレバー ショキイジョウ	ジョイスティックを中立に戻してください。		
1回	1回	オイルレベルイジョウ イシヨウシヨウタイヲ ケンシュツ オイル レベル イシヨウ オイルヲ ツイカ シテクダサイ	①エンジンオイルを追加してください。 ②オイルアラートの配線を確認してください。 補足 トラック等で輸送直後、一時的にオイルレベル異常が表示されることがあります。オイル量確認後、アイドル運転をおこない、再度確認してください。		
2回	2回	ホンタイカラノ ツウシン イジョウ イシヨウシヨウタイヲ ケンシュツ ホンタイカラノ ツウシン イシヨウ	本体から送信できていない。またはリモコンが受信できていない。 下記①～⑤を確認し、本体の無線機能の確認からおこなってください。		
			① 本体コントローラ、リモコンコントローラの電源をLEDの点灯やLCDの表示で確認してください。	本体側LEDが点灯しない	ヒューズを交換 バッテリー端子はずれている バッテリー放電
			② アンテナの位置、コントローラケース内のアンテナ線の接続を確認してください。	アンテナ線断線	アンテナ線を修理してください
			③ 無線番号の設定とディップスイッチの位置を確認してください。	ディップスイッチが異なれば合わせる (8-8. 無線番号設定)	
			④ 無線番号の設定を変更して動作確認してください。	別の無線番号で動けば正常	
		⑤ 以上で改善されない場合は、販売店に相談してください。(電波環境で使用できない場合もあります)			

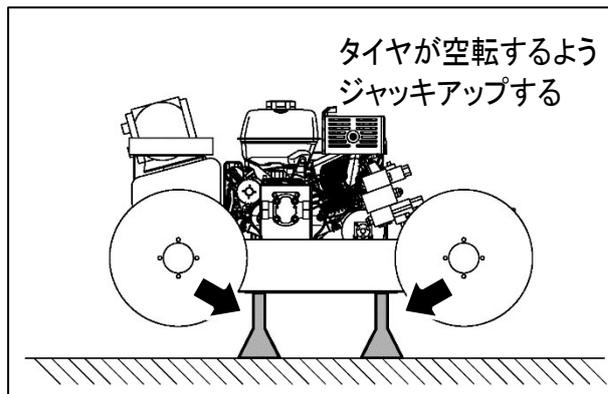
ブザー回数	本体LED点滅	リモコン異常表示	対 応	原 因	
2回	2回	リモコンカラノ ツウシンイジョウ	リモコンから送信できていない。または本体が受信できていない。 下記①～⑤を確認し、リモコンの無線機能の確認からおこなってください。		
			① 本体コントローラ、リモコンコントローラの電源をLEDの点灯やLCDの表示で確認してください。	本体側LEDが点灯しない	ヒューズを交換 バッテリー端子はずれている バッテリー放電
			② アンテナの位置、コントローラケース内のアンテナ線の接続を確認してください。	アンテナ線断線	アンテナ線を修理してください
			③ 無線番号の設定とディップスイッチの位置を確認してください。	ディップスイッチが異なれば合わせる (8-8. 無線番号設定)	
			④ 無線番号の設定を変更して動作確認してください。	別の無線番号で動けば正常	
		⑤ 以上で改善されない場合は、販売店に相談してください。 (電波環境で使用できない場合もあります)			
3回	3回	フクスウ ムセン ジュシン イジヨウシヨウタイ ケンシュツ フクスウ ムセン シュシン ツウシン イジヨウ	① 無線番号と同じ電波が受信されています。	無線番号の設定を変更してください。	
4回	4回	エンジン ツウシン イジョウ イジヨウシヨウタイ ケンシュツ エンジン ツウシン イジヨウ	① エンジンとの通信線を確認してください。		
5回	5回	セルスタート ショキイジョウ イジヨウシヨウタイ ケンシュツ セル スタート ショキイジヨウ シトウカ キテイ コエマシタ メインテナンスヲ イチト OFFニ	① セルスタートが始動規定回数を超えています。	本体コントローラの主電源を一旦「STOP」してください。	
				燃料・燃料コック・チョークを確認し、再度始動操作してください。	
6回	6回	エンジン ミシドウ シテイ ツウデンジカン ケイカ イジヨウシヨウタイ ケンシュツ エンジン ミシドウ シテイ ツウデンジカン ケイカ	① 本体コントローラの主電源が「ON」され、エンジン始動がないまま5分以上経過しています。	本体コントローラの主電源を一旦「STOP」してください。	
7回 (※)	7回	エンジンスイッチ ショキイジョウ ショキ OFFニ アリマセン イジヨウシヨウタイ ケンシュツ エンジンスイッチ ショキイジヨウ ショキ OFFニ アリマセン	① エンジンスイッチを一旦「OFF」してください。 ※ 本体とリモコンの通信が確立されない時間が長いとブザーは鳴りません。 液晶にのみ表示のみされます。		

16-5. ジョイスティック中立で 前または後ろに動く場合の対応

取扱注意

調査の前にリモコン自走草刈機をジャッキアップし、車体の間にウマ等を入れ、タイヤが空転する処置をしてください。

(1) 本体とリモコンの主電源を「ON」にする。



(2) 本体のエンジンを始動せず、ジョイスティックレバーを操作する。



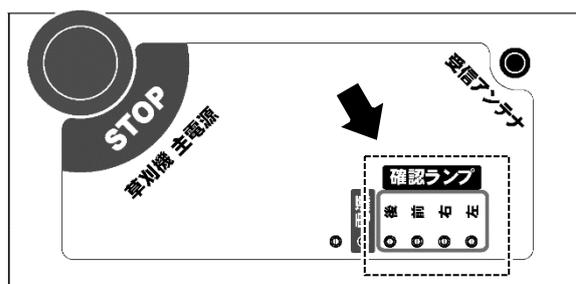
(3) 本体コントローラの走行LEDが点灯しているか確認する。

点灯する ⇒

リモコンからの信号を受けて本体コントローラから出力しています。
本体コントローラから油圧バルブまでの配線または油圧バルブを確認してください。

点灯しない ⇒

リモコンからの信号を本体で受信できていません。
リモコンコントローラの異常ブザーと本体LEDの点滅を確認してください。

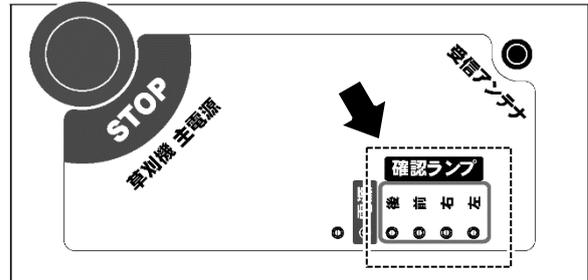


16-6. 走行ができない場合

- (1) 異常ブザー・異常表示が出ている場合、原因の調査確認をする。
- (2) 走行操作で本体コントローラの走行LEDが点灯しているか確認する。

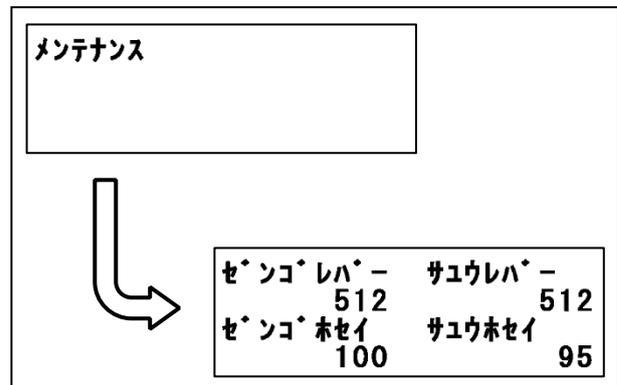
	後進	前進	右 旋回	左 旋回
前進 操作	×	○	○	○
後進 操作	○	×	○	○

⇒ 正常に点灯している場合は油圧側に問題があります。



- (3) リモコンコントローラのメンテナンスモードを開く。(8-6-3. 液晶画面表示一覧) レバー操作に合わせ、値が変化するか確認する。

⇒ 変化しない場合、リモコンコントローラに問題があります。



お客様メモ

購入日 :	年	月	日
購入店名 :			

製造元

三陽機器株式会社

<https://www.sanyokiki.co.jp/>



ISO9001
JQA-QM4853
本社・宝塚事業所

本社・工場 研究所	〒719-0392	岡山県浅口郡里庄町新庄3858	TEL. 0865-64-2871	FAX. 0865-64-2874
宝塚事業所	〒665-0825	兵庫県宝塚市安倉西4丁目2-25	TEL. 0797-83-0012	FAX. 0797-83-0312
東北センター	〒984-0002	仙台市若林区卸町東1丁目9番23号	TEL. 022-236-8581	FAX. 022-239-7291

三陽サービス株式会社

本社	〒719-0392	岡山県浅口郡里庄町新庄3858	TEL. 0865-64-4301	FAX. 0865-64-2874
札幌営業所	〒007-0806	札幌市東区東苗穂6条2丁目14-20号	TEL. 011-781-8777	FAX. 011-781-9742
仙台営業所	〒984-0002	仙台市若林区卸町東1丁目9番23号	TEL. 022-236-8581	FAX. 022-239-7291
関東営業所	〒323-0029	栃木県小山市城北1丁目1-5	TEL. 0285-22-2901	FAX. 0285-23-1549
岡山営業所	〒719-0392	岡山県浅口郡里庄町新庄3858	TEL. 0865-64-4301	FAX. 0865-64-2874
熊本営業所	〒861-3106	熊本県上益城郡嘉島町上島2500-3	TEL. 096-237-2007	FAX. 096-237-2029